

令和7年版年報



美作市消防本部

は し が き

この消防年報は、令和7年中の消防業務に関する諸般の事項を集録し、将来の

参考に資すると共に、消防事情を紹介するために編集したものです。

なお、この消防年報は、令和7年12月末日をもって集録し、一部これによらない

ものについては、当該表にそれぞれ記載する年月日現在によるものです。

美作市消防本部

目 次

美作市消防本部の沿革	1
消防庁舎の現況	13
美作市消防本部の案内図	14
美作市消防本部の組織と機構	15

総 務

1. 職員の定員、実員及び配置	16
2. 職員の階級別年齢状況	16
3. 職員の教養状況	17
4. 現有車両一覧表	18

予 防

1. 防火対象物の概況と査察	19
2. 法第 8 条該当防火対象物の状況	20
3. 消防用設備等の点検報告を要する防火対象物と受理件数	20
4. 消防用設備等の届出及び検査状況	20
5. 防火講習会、避難訓練等指導状況	20
6. 建築同意事務処理状況	21
7. 建築同意事務処理の推移	21
8. 月別各種届出件数	22
9. 市村別各種届出受理件数	23
10. 各種届出受理件数（過去 5 年間の比較）	24
11. 市村別危険物施設状況	25
12. 危険物数量別施設状況	26
13. 危険物関係事務処理状況	27
14. 危険物関係査察実施状況	28
15. 過去 5 年間の施設別設置許可件数	29

火 災

火災の概要	30
1. 火災発生状況及び前年との比較	32
2. 市村別・月別・種別別火災発生状況	33
3. 曜日・時間別火災発生状況	34

4. 市村別建物火災程度・損害状況	35
5. 原因別火災発生状況	36
6. 過去5年間の火災発生状況	37
7. 過去5年間の火災発生状況と主な出火原因	38

救 急

救急の概要	39
1. 月別救急出場件数	40
2. 月別救急搬送人員	41
3. 出場場所地区別救急出場件数	42
4. 署所別出場件数及び搬送人員	42
5. 年齢別搬送人員	43
6. 事故発生場所区分別搬送人員	44
7. 現場到着所要時間別出場件数	45
8. 医療機関等への収容時間別搬送人員	45
9. 現場到着所要時間・医療機関等収容時間の推移状況	46
10. 不搬送理由別不搬送件数	46
11. 時間帯別・事故種別別出場件数	47
12. 曜日別・事故種別別出場件数	48
13. 過去10年間の事故種別別出場件数	49
14. 過去10年間の年齢別搬送人員の状況	50
15. 過去10年間の傷病程度別搬送人員の状況	51
16. 過去10年間の心肺停止傷病者への 一般市民による応急手当実施状況	52

救 助

救助の概要	53
1. 事故種別別救助出場件数・活動件数	54
2. 事故発生地区別救助出場件数・活動件数	55
3. 救助人員における年齢区分別傷病程度	56
4. 救助人員における事故種別傷病程度	56
5. 過去5年間の事故種別救助出場件数	57

通 信

通信の概要	58
-------	----

1. 美作地区消防指令センター管内	
区分別着信件数の内美作市消防本部管内着信件数の割合	59
2. 過去3年間の美作市消防本部管内種別別119番通報着信件数	60
3. 過去3年間の美作地区消防指令センター管内	
種別別119番通報着信件数	60
4. 過去3年間の美作市消防本部管内	
固定電話と携帯電話からの119番通報着信件数	61
5. 過去3年間の美作地区消防指令センター管内	
固定電話と携帯電話からの119番通報着信件数	61

美作市消防本部の沿革

- 昭和 47 年 3 月 英田広域市町村圏計画（広域常備消防整備計画）策定
- 昭和 48 年 1 月 英田圏域消防組合設立について申請
- 昭和 48 年 2 月 英田圏域消防組合設立許可（岡山県指令地 第 1657 号）
- 昭和 48 年 4 月 消防本部及び消防署設置についての政令指定を受ける。
消防職員 23 名を採用
英田圏域消防組合消防本部、署として発足。
- 昭和 48 年 6 月 消防本部、署業務開始。
- 昭和 48 年 8 月 消防ポンプ自動車（トヨタ FJ55V 改）3 台購入、内 1 台を大原分駐所に配備する。
- 昭和 48 年 9 月 小型動力ポンプ（シバウラ TF40）1 台購入、本署へ配備する。
- 昭和 48 年 10 月 指令車（トヨタ TT106V 改）1 台購入、本署へ配備する。
- 昭和 48 年 12 月 大原分駐所庁舎完成
小型動力ポンプ（シバウラ TF40）1 台購入、大原分駐所へ配備する。
- 昭和 49 年 1 月 救急車 3B 型（トヨタ H-RH19V）1 台購入、大原分駐所へ配備する。
救急業務開始
- 昭和 49 年 3 月 日本損害保険協会から救急車 3B 型（日産 GC240 改）1 台寄贈を受ける。
超短波消防無線機（基地局 3、移動局 6）を設置する。
- 昭和 49 年 4 月 消防職員 13 名採用、総員 36 名となる。
- 昭和 49 年 5 月 消防職員 1 名退職、新たに 3 名を採用、総員 38 名となる。
- 昭和 49 年 9 月 小型動力ポンプ（トーハツ V60A-S）1 台購入。
- 昭和 49 年 11 月 化学車（イスズ SBR380）1 台購入、本署へ配備する。
- 昭和 50 年 3 月 無線局開局。（移動局 1）超短波消防無線電話予備機を設置する。
- 昭和 50 年 6 月 日本消防協会から広報車（三菱 A112V）の寄贈を受ける。
- 昭和 50 年 12 月 消防職員 1 名退職、総員 37 名となる。
- 昭和 51 年 1 月 消防職員 1 名補充、総員 38 名となる。
- 昭和 51 年 3 月 無線局開局（移動局 1）
- 昭和 51 年 4 月 消防職員 1 名採用、総員 39 名となる。
日本損害保険協会から救急車 2B 型（トヨタ H-RH19V）1 台寄贈を受ける。
- 昭和 52 年 4 月 消防職員 2 名採用、総員 41 名となる。
- 昭和 52 年 9 月 消防職員 1 名採用、総員 42 名となる。

昭和 52 年 10 月	消防職員 1 名退職、総員 41 名となる。 岡山県へ消防職員 1 名を派遣し、岡山県から 1 名の派遣を受ける。
昭和 53 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 44 名となる。 大原分駐所を大原出張所に昇格させる。
昭和 53 年 6 月	指令車（トヨタ H-TA19V）1 台購入、本部に配備していた指令車を大原出張所に配置転換する。
昭和 53 年 7 月	消防庁舎建設に伴い施工業者指名入札会（岩谷工務店 落札）
昭和 53 年 8 月	仮庁舎へ移転 消防庁舎起工式執行、同じく着工する。
昭和 53 年 10 月	消防署員 1 名病死、総員 43 名となる。
昭和 53 年 12 月	新庁舎一部完成し、通信部門のみ移転する。
昭和 54 年 2 月	新庁舎落成、落成式執行。 新庁舎へ全面移転し、業務を始める。
昭和 54 年 4 月	消防職員 5 名採用、総員 48 名となる。
昭和 54 年 8 月	作東武蔵ライオンズクラブから救急車 2B 型（トヨタ H-RH42VB）1 台寄贈を受け、大原出張所へ配備する。
昭和 54 年 10 月	消防職員 1 名の岡山県派遣を解き、総員 49 名となる。 無線局開局（移動局 1） 大原出張所増改築に伴い施工業者指名入札会（寿建設 落札） 大原出張所増改築工事着工
昭和 54 年 12 月	大原出張所増改築工事完成
昭和 55 年 4 月	消防職員 1 名採用、総員 50 名となる。 原因調査車（ダットサン H-VJ810）1 台購入、本署に配備する。
昭和 55 年 7 月	国庫補助を受けて消防ポンプ自動車（トヨタ J-FJ56F）1 台購入、大原出張所に配備する。
昭和 55 年 8 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（トヨタ J-FJ56）1 台寄贈を受け本署に配備、予備車 1 台を設ける。
昭和 56 年 1 月	消防署員 1 名美作町から出向を受ける。 消防職員 1 名退職。
昭和 56 年 4 月	消防職員 1 名岡山県からの派遣を解く。総員 49 名となる。 大原出張所に配備していた指令車（昭和 49 年 10 月購入分）を廃車にする。
昭和 56 年 8 月	本署に配備していた救急車（昭和 49 年 3 月購入分）1 台を廃車にする。
昭和 56 年 9 月	大原出張所に配備していた消防車（昭和 48 年 8 月購入分）1 台を廃車にする。

昭和 56 年 10 月	日本消防協会から積載車（トヨタ J-RH24）1 台寄贈を受け、大原出張所へ配備する。
昭和 57 年 3 月	本署に配備していた救急車（昭和 49 年 1 月購入分）1 台を廃車にする。
昭和 57 年 11 月	作東武蔵ライオンズクラブから救急車（日産 L-FHGE23）1 台寄贈を受け、本署へ配備する。 訓練塔改修
昭和 58 年 1 月	岡山県共済農業協同組合連合会から救急車（日産 L-FHGE23）1 台寄贈を受け、本署へ配備する。
昭和 58 年 6 月	本署救急車（H-PH19V）を搬送車に改造し、本署に配備する。
昭和 58 年 11 月	消防職員 1 名美作町からの出向を解く。総員 48 名となる。
昭和 59 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 50 名となる。
昭和 59 年 8 月	日本消防協会から指令広報車（日産 L-VRU11 改）1 台寄贈を受け、本部に配備する。 日本消防協会から緊急給水用ろ水器 1 台寄贈を受け、本署へ配備する。
昭和 60 年 7 月	本署に配属していた広報車（昭和 50 年 7 月日本消防協会から寄贈分）1 台を廃車にする。
昭和 60 年 8 月	英田圏域危険物安全協会から広報車（スズキ M-CA71V）1 台寄贈を受け、本部に配備する。
昭和 60 年 11 月	中国自動車道における救急業務を受託する。 日本道路公団から救急車（日産 M-UW40 改）1 台寄贈を受け本署に配備する。
昭和 61 年 9 月	津山信用金庫から救急車（イスズ N-WFS53FVH）1 台寄贈を受け、本署へ配備する。 本署に配備していた救急車（日産 L-FHGE23）を大原出張所へ配備する。 出張所に配備していた救急車（トヨタ H-RH42VB）を本署へ指揮搬送車として配備する。 小型動力ポンプ（シバウラ TF-15SE）1 台購入、本署へ配備する。
昭和 61 年 9 月	本部庁舎の塔屋、階段室補修工事入札（須田工務店 落札）
昭和 61 年 10 月	本部庁舎の塔屋、階段室補修工事着工 本部庁舎の塔屋、階段室補修工事完成 本署に配備していた指揮搬送車（トヨタ H-RH19V）1 台を廃車にする。

- 昭和 61 年 12 月 日本防火協会から英田圏域婦人防火クラブ連絡協議会へ防火広報車（日産 VHGE23）1 台寄贈を受け、本部が管理することになり本署へ配備する。
本署に配備していた指揮搬送車（トヨタ HRH42VB）1 台を廃車にする。
- 昭和 62 年 1 月 国庫補助を受けて消防自動車（三菱 FE-335B）1 台購入、本署へ配備する。
本署に配備していた消防車（トヨタ FJ55V）1 台を廃車にする。
- 昭和 62 年 2 月 国庫補助を受けて救助工作車（日野 P-FD172BA）1 台購入、本署へ配備する。
- 昭和 63 年 3 月 訓練塔改修工事完成
- 昭和 63 年 11 月 組合発足 15 周年記念式典
- 平成 元年 2 月 本部通信指令室改修工事入札（須田工務店 落札）
- 平成 元年 3 月 本部通信指令室改修工事着工
本部通信指令室改修工事完成
- 平成 元年 4 月 本署に配備していた指揮車（日産 H-VJ810）1 台を廃車にする。
- 平成 2 年 1 月 本部、署の機構改革。
消防職員 1 名退職、総員 49 名となる。
- 平成 2 年 3 月 通信指令台（I 型）設置工事完成
- 平成 2 年 8 月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（日産 T-FGY60 改）1 台寄贈を受け、大原出張所に配備する。
大原出張所に配備していた消防車（トヨタ-FJ56F・昭和 55 年 7 月購入分）1 台を廃車にする。
- 平成 2 年 12 月 岡山県共済農業協同組合連合会から救急車（日産 T-FTGE24）1 台寄贈を受け、大原出張所に配備する。
大原出張所に配備していた救急車（日産 L-FHGE2）を本署に配備する。
- 平成 3 年 4 月 消防職員 2 名採用、総員 51 名となる。
- 平成 3 年 12 月 岡山県共済農業協同組合連合会から救急車（日産 E-AEGE24 改）1 台寄贈を受け、本署に配備する。
- 平成 3 年 12 月 本署に配備していた救急車（日産 M-UW40 改・日本道路公団から寄贈分）1 台を廃車にする。
本署に配備していた救急車（日産 L-FHGE23・昭和 57 年 11 月作東武蔵ライオンズ寄贈分）1 台を廃車にする。
- 平成 4 年 3 月 大山中継局、本署、大原出張所の無線関係を更新する。
- 平成 4 年 4 月 消防職員 2 名採用、総員 53 名となる。

- 平成 4 年 6 月 指令車（トヨタ E-ST170G 改）1 台購入、本部へ配備する。
本部に配備していた指令車（トヨタ H-TA19V・昭和 53 年購入分）1 台を廃車にする。
- 平成 4 年 9 月 日本消防協会から救急車（トヨタ T-RZHI32S）1 台寄贈を受け本署に配備する。
本署に配備していた救急車（日産 L-FHGE23・昭和 58 年 1 月岡山県共済農業協同組合連合会寄贈分）1 台を廃車にする。
- 平成 5 年 2 月 本部消防長室・署事務所等補修工事着工
平成 5 年 3 月 消防職員 3 名退職。
本部消防長室・署事務所等補修工事完成
- 平成 5 年 4 月 消防職員 5 名採用、総員 55 名となる。
平成 5 年 11 月 防災行政通信ネットワーク整備事業着工
平成 6 年 2 月 大原出張所屋根改修工事入札（森岩木材 落札）
大原出張所屋根改修工事着工
本部事務所補修工事着工
本部事務所補修工事完成
- 平成 6 年 3 月 防災行政通信ネットワーク整備事業完成
大原出張所屋根改修工事完成
消防職員 1 名退職。
- 平成 6 年 4 月 消防職員 3 名採用、総員 57 名となる。
平成 6 年 12 月 化学車（日野 U-FD3HEAA 改）1 台購入、本部へ配置する。
本部に配備していた化学車（イスズ SER380・昭和 49 年購入分）1 台を廃車にする。
岡山県共済農業協同組合連合会から救急車（日産 E-FEGE24）1 台寄贈を受け、大原出張所へ配備する。
大原出張所へ配備していた救急車（日産 T-FTGE24）を本署に配備する。
- 平成 6 年 12 月 本署に配備していた救急車（イスズ N-WFS53FVH・昭和 61 年 9 月津山信用金庫寄贈分）1 台を廃車にする。
- 平成 7 年 1 月 阪神大震災に伴う応援派遣（1 月 17 日～3 月 29 日延べ 147 名）
平成 7 年 2 月 本署事務所改修工事着工
大原出張所事務所改修工事着工
本署事務所改修工事完成
大原出張所事務所改修工事完成
- 平成 7 年 3 月 本部講堂補修工事着工
本部講堂補修工事完成
- 平成 7 年 4 月 消防職員 2 名採用、総員 59 名となる。

平成 7 年 10 月	本署下水道接続工事着工 本署下水道接続工事完成
平成 7 年 11 月	本署車庫兼倉庫棟新築工事入札（須田住建 落札）
平成 7 年 12 月	本署車庫兼倉庫棟新築工事着工
平成 8 年 3 月	本署車庫兼倉庫棟新築工事完成 本署浴槽等の改修工事着工 本署浴槽等の改修工事完成 本署前庭の排水路の溝蓋改修 本署屋外階段塗装 大原出張所の望楼塗装
平成 8 年 5 月	指令広報車（トヨタ E-ST191G）1 台購入、本署へ配備する。 本署に配備していた指令広報車（日産 L-VRU11 改・昭和 59 年 8 月日本消防協会寄贈分）1 台を廃車にする。
平成 8 年 9 月	津山信用金庫から救急車（日産 E-FEGE24）1 台寄贈を受け 本署に配備する。
平成 8 年 10 月	本署救急車（トヨタ T-RZHI32S）を広報車に改造し、本署に配備する。 本署に配備していた防火広報車（日産 VHGE23・昭和 61 年 12 月日本防火協会から英田圏域婦人防火クラブ連絡協議会寄贈分）1 台を廃車にする。
平成 8 年 12 月	国庫補助を受けて消防自動車（三菱 KC-FG538D）1 台購入、大原出張所へ配備する。
平成 9 年 3 月	本署車庫兼倉庫棟 2 階の一部に消毒室を設ける。 消防職員 1 名退職。
平成 9 年 6 月	事務連絡車（ホンダ V-HH4）1 台購入、本部へ配備する。
平成 9 年 9 月	指揮車（三菱 R-CD2V）1 台購入、大原出張所へ配備する。
平成 9 年 10 月	本部旗製作
平成 9 年 12 月	緊急援助隊資機材一式購入
平成 10 年 3 月	本部講堂床貼替及び暗幕交換
平成 10 年 4 月	消防職員 1 名採用、総員 59 名となる。
平成 10 年 11 月	大原出張所事務所及び食堂の床改修工事入札 （モリモト工業 落札） 大原出張所事務所及び食堂の床改修工事着工 大原出張所事務所及び食堂の床改修工事完成
平成 11 年 2 月	本署 2 階便所改修工事（1 基洋式に改装）入札（イマダ 落札）

平成 11 年 3 月	日本損害保険協会から高規格救急車（トヨタ GB-VCH38S）1 台の寄贈を受け本署に配備する。 本署に配備していた救急車（日産 T-FTGE24・岡山県共済農業協同組合連合会から寄贈分）1 台を廃車にする。 本署 2 階便所改装工事（1 基洋式に改装）着工 本署 2 階便所改修工事（1 基洋式に改装）完成
平成 12 年 3 月	消防職員 2 名退職。
平成 12 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 59 名となる。
平成 12 年 12 月	本署 2 階調理室改修工事入札（(有)丸大製材所 落札） 本署 2 階調理室改修工事着工
平成 13 年 2 月	本署 2 階調理室改修工事完成
平成 13 年 3 月	高規格救急車（トヨタ GE-VCH38S）1 台購入、大原出張所へ配備する。 大原出張所に配備していた救急車（日産 E-FEGE24・岡山県共済農業協同組合連合会寄贈分）1 台を廃車にする。
平成 13 年 11 月	連絡車（ホンダ F-CF4）1 台購入、本部に配備する。
平成 13 年 12 月	消防職員 1 名退職。総員 58 名となる。 津山信用金庫から救急車（トヨタ GE-VCH28S-QRSRK4WD2B 型）1 台寄贈を受け、本署に配備する。 本署に配備していた救急車（日産 E-FEGE24 津山信用金庫寄贈分）1 台を廃車にする。
平成 14 年 2 月	通信指令室増改築工事入札（広瀬住建 落札）
平成 14 年 3 月	通信指令室増改築工事着工 通信指令室増改築工事完成 事務職員 1 名退職。総員 57 名となる。
平成 14 年 4 月	消防職員 2 名採用。総員 59 名となる。
平成 14 年 6 月	消防職員 1 名退職。総員 58 名となる。
平成 14 年 7 月	本部に配備していた広報車（トヨタ T-RZHI32S）1 台を廃車にする。 広報車（トヨタハイエース GE-RZHI83K）を本部に配備する。 消防緊急通信指令システム（1 型）工事入札 （沖電気工業株式会社 落札） 発信地表示システム工事入札（沖電気工業株式会社 落札）
平成 14 年 11 月	消防緊急通信指令システム（1 型）工事着工 発信地表示システム工事入札着工
平成 15 年 3 月	消防緊急通信指令システム（1 型）完成 発信地表示システム工事入札完成

	消防職員 1 名退職。総員 57 名となる。
平成 15 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 59 名となる。
平成 16 年 2 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（三菱 KK-FG73ED） 1 台寄贈を受け、本署に配備する。
平成 16 年 3 月	消防職員 2 名退職、総員 57 名となる。
平成 16 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 59 名となる。
平成 16 年 7 月	消防職員 1 名退職、総員 58 名となる。
平成 17 年 3 月	3 月 30 日をもって英田圏域消防組合を閉庁 3 月 31 日から美作市消防本部、署として発足 3 月 31 日から西粟倉村消防事務の事務委託に関する規約締結
平成 18 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 57 名となる。
平成 18 年 4 月	消防職員 5 名採用、総員 62 名となる。 市職員の 1 名異動により、総員 63 名となる。 勝田・英田駐在所運用開始
平成 18 年 9 月	津山信用金庫から救急車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台寄贈を受 け、本署に配備する。 消防職員 1 名退職、総員 62 名となる。
平成 18 年 10 月	市職員の 1 名異動により、総員 63 名となる。
平成 19 年 3 月	消防職員 3 名退職。総員 60 名となる。
平成 19 年 4 月	消防職員 5 名採用、総員 65 名となる。
平成 20 年 1 月	国庫補助（緊急消防援助隊設備整備費補助）を受けて災害対応特 殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型・日野 BDG-GX7JGWA 改） 1 台購入、大原出張所に配備する。 大原出張所に配備していた消防車（三菱 KC-FG538D）を本署に 配備する。 本署に配備していた消防車（三菱 FE-335B）1 台を廃車にする。
平成 20 年 2 月	指令車（トヨタ CBA-NCP59G）及びボートトレーラを購入、本 署に配備する。
平成 20 年 3 月	本署に配備していた指令車（トヨタ ST170G 改）1 台を廃車にす る。 消防職員 1 名退職、1 名異動により、総員 63 名となる。
平成 20 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 65 名となる。
平成 20 年 7 月	本署庁舎空調改修工事入札（㈱中電工美作営業所 落札） 本署庁舎空調改修工事着工
平成 20 年 10 月	本署庁舎空調改修工事完成
平成 20 年 11 月	岡山県防災情報ネットワーク高度化事業着工 救急車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台更新、本署に配備する。

平成 20 年 12 月	岡山県防災情報ネットワーク高度化事業完成。 消防職員 1 名退職、総員 64 名となる。
平成 21 年 3 月	消防職員 3 名退職、総員 61 名となる。
平成 21 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 63 名となる。 岡山県（消防防災航空センター）に消防職員 1 名を派遣する。
平成 21 年 12 月	国庫補助（緊急消防援助隊設備整備費補助）を受けて救助工作車 II 型（日野 BDG-GX7JGWA 改）1 台購入、本署に配備する。 本署に配備していた救助工作車（日野 P-FD172BA）1 台を廃車する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職、1 名異動により、総員 60 名となる。
平成 22 年 4 月	消防職員 3 名を採用し、総員 63 名となる。
平成 22 年 5 月	国庫補助（緊急消防援助隊設備整備費補助）を受けて救急車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を購入、本署に配備する。 本署に配備していた救急車（GB-VCH38S）1 台を廃車にする。
平成 22 年 6 月	本署に配備していた事務連絡車（E-CE4）1 台を廃車にする。
平成 22 年 9 月	美作市危険物安全協会から指導車（トヨタ DBA-SCP90）1 台寄贈を受け、本署に配備する。
平成 22 年 10 月	美作地区 3 消防本部消防通信指令事務協議会が設置される。 平成 14 年度に構築した消防情報支援システム機器を更新する。
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生により、緊急消防援助隊として宮城県へ救急隊 1 隊、隊員を延べ 8 名派遣。
平成 23 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 62 名となる。
平成 23 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 65 名となる。
平成 24 年 3 月	消防職員 5 名退職、総員 60 名となる。
平成 24 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 63 名となる。 津山圏域消防組合、真庭市消防本部、美作市消防本部による消防指令業務の共同運用（美作地区消防指令センター）開始。
平成 24 年 6 月	消防職員 1 名退職、総員 62 名となる。
平成 24 年 10 月	資器材搬送車（トヨタ TKG-XZU695）1 台購入、本署に配備する。 本署に配備していた指令広報車（トヨタ E-ST191G）1 台を廃車にする。 全国共済農業組合連合会岡山県本部より救急車（日産 CBF-FPWGE50 改）1 台寄贈を受け、大原出張所に配備する。 大原出張所に配備していた救急車（トヨタ GE-VCH38S）1 台を廃車にする。 新消防庁舎建設工事入札（株式会社 小倉組 落札） 新消防庁舎建設工事着工

平成 25 年 3 月	消防職員 2 名退職、総員 60 名となる。
平成 25 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 63 名となる。
平成 25 年 7 月	消防救急デジタル無線設備設置工事入札。 (株式会社 日立製作所 中国支社 落札) 【津山圏域消防本部・真庭市消防本部・美作市消防本部 3 消防本部による共同整備】
平成 25 年 10 月	消防救急デジタル無線設備設置工事着工 (美作市消防本部分) 新消防庁舎建設工事竣工
平成 25 年 11 月	新消防庁舎運用開始
平成 26 年 3 月	消防職員 3 名退職、総員 60 名となる。
平成 26 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 63 名となる。
平成 26 年 6 月	任期付消防職員 1 名採用、総員 64 名となる。
平成 26 年 8 月	広島市土砂災害発生により、緊急消防援助隊として隊員を延べ 9 名派遣する。
平成 27 年 3 月	消防救急デジタル無線設備工事に伴い、大山中継所を撤去する。 消防救急デジタル無線設備設置工事完成、運用開始する。
平成 28 年 3 月	本署に配備していた化学消防車 (日野 U-FD3HEAA 改) 1 台と救急車 (トヨタ CE-VCH28S) 1 台を、(一社) 日本外交協会を通じ海外に寄贈する。 救急車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を更新、本署に配備する。 化学車 (日野 SDG-GX7JGAA 改) 1 台を更新、本署に配備する。 消防職員 2 名退職、総員 62 名となる。
平成 28 年 4 月	消防職員 3 名採用、うち美作市初の女性消防職員 1 名採用、総員 65 名となる。
平成 28 年 4 月	熊本地震発生により、緊急消防援助隊として救急隊 1 隊、隊員を延べ 10 名派遣する。
平成 28 年 9 月	女性職員仮眠室建設工事入札 (株式会社 佐藤建設 落札)
平成 28 年 10 月	女性職員仮眠室建設工事着工
平成 28 年 12 月	女性職員仮眠室建設工事完成
平成 28 年 3 月	本署に配備していた消防車 (三菱 KC-FG538D) 1 台を公売する。
平成 28 年 3 月	消防車 (日野 TKG-XZU685M) 1 台を更新、本署に配備する。
平成 29 年 7 月	事務連絡車 (スズキ HBD-DA17V) を更新、本署に配備する。
平成 29 年 4 月	岡山県 (消防防災航空センター) に消防職員 1 名を派遣、総員 64 名となる。 大原出張所耐震改修工事入札 (株式会社 高元組 落札)
平成 29 年 5 月	大原出張所耐震改修工事着工
平成 29 年 7 月	大原出張所耐震改修工事完成

平成 30 年 2 月	大原出張所警鐘台塗裝修繕工事着工（株式会社 エイワン）
平成 30 年 3 月	大原出張所警鐘台塗裝修繕工事完成 消防職員 2 名退職、総員 62 名となる。
平成 30 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 65 名となる。 美作市の機構改革により、消防団関係事務が危機管理室から消防総務課へ移管となる。
平成 30 年 7 月	平成 30 年 7 月豪雨発生により、岡山県下消防相互応援協定に基づき、倉敷市真備町及び総社市に 5 隊 17 名派遣する。
平成 31 年 3 月	美作市消防団が、日本消防協会特別表彰「まとい」を受章する。 指揮車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を更新、本署に配備する。 本署に配備していた指揮車（トヨタ CBA-NCP59G）を大原出張所に配備する。 大原出張所に配備していた指揮車（三菱 R-CD2V）を廃車にする。
令和元年 9 月	美作市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞する。
令和元年 10 月	救急車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を更新、本署に配備する。
令和 2 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 64 名となる。
令和 2 年 6 月	連絡車（ダイハツ EBD-S331V）1 台を更新、本署に配備する。
令和 3 年 1 月	救急車（トヨタ 3BF-TRH226S）1 台を更新、本署に配備する。
令和 3 年 3 月	消防職員 5 名退職、消防職員 1 名美作市役所からの出向を解く。 総員 60 名となる。
令和 3 年 4 月	消防職員 3 名採用、総員 63 名となる。
令和 4 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 62 名となる。
令和 4 年 4 月	消防職員 4 名採用、消防職員 1 名出向（美作市消防団事務）。 総員 65 名となる。
令和 5 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 64 名となる。
令和 5 年 3 月	救急車（日産 3BF-CS8E26 改）1 台を更新、本署に配備する。 本署に配備していた救急車（トヨタ CBF-TRH226S）1 台を廃車にする。
令和 5 年 4 月	岡山県（消防防災航空センター）に消防職員 1 名を派遣、総員 63 名となる。
令和 5 年 11 月	通学・実習車（トヨタ 5BA-NRE161G）を 1 台購入、本署に配備する。
令和 6 年 3 月	消防職員 1 名退職、総員 63 名となる。
令和 6 年 4 月	消防職員 2 名採用、総員 65 名となる。
令和 6 年 3 月	岡山市南区飽浦地域における山林火災発生により、岡山県下消防相互応援協定に基づき、岡山市南区に 6 隊 24 名派遣する。
令和 7 年 3 月	消防職員 2 名退職、総員 63 名となる。

- 令和7年 4月 消防職員1名採用、総員64名となる。
- 令和7年 5月 消防車（日野 2DG-XZU685M）1台を更新、大原出張所に配備する。
大原出張所に配備していた消防車（日野 BDG-GX7JGWA 改）を本署に配備する。
本署に配備していた消防車（三菱 KK-FG73ED）を廃車にする。
- 令和8年 3月 救急車（トヨタ 3BF-TRH226S）1台を更新、大原出張所に配備する。
大原出張所に配備していた救急車（日産 CBF-FPWGE50 改）1台を廃車にする。
- 令和8年 3月 消防職員3名退職、総員61名となる。

消防庁舎の現況

区分	所在地	建築年月日	構造	敷地面積	建築面積	延面積	電話番号
本部・署 庁舎棟	美作市檜原下1100番地	H 25. 11. 1	鉄筋コンクリート造 2階建	8,611.40㎡	1,601.74㎡	2,078.63㎡	0868-72-0119(代)
主訓練塔			鉄筋コンクリート造 5階建		98.92㎡	254.70㎡	
副訓練塔			鉄筋コンクリート造 3階建		31.27㎡	93.81㎡	
車庫・倉庫棟			鉄骨造平屋建		256.50㎡	256.50㎡	
大原出張所	美作市古町1766-2	S 48. 11. 28	鉄筋コンクリート平屋建	756.5㎡	267.42㎡	247.54㎡	0868-78-0119

消防本部・署



大原出張所

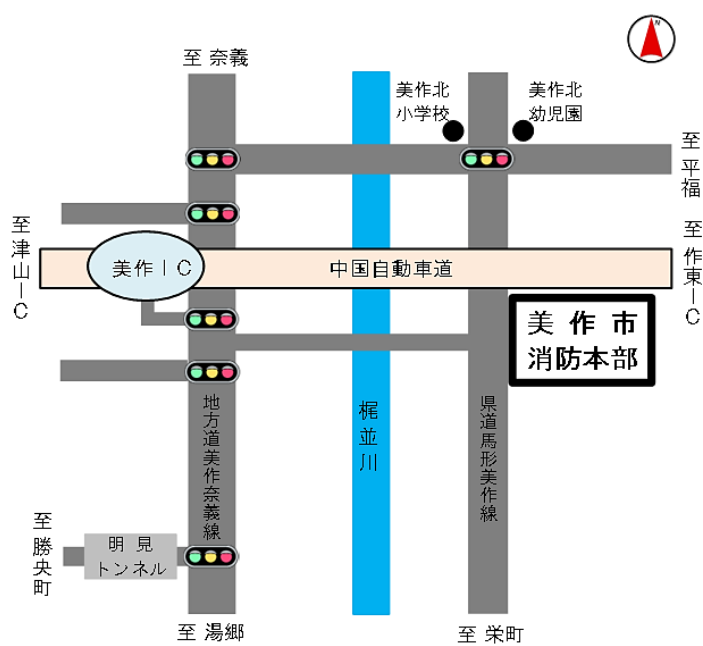


美作市消防本部の案内図

美作市消防本部位置図

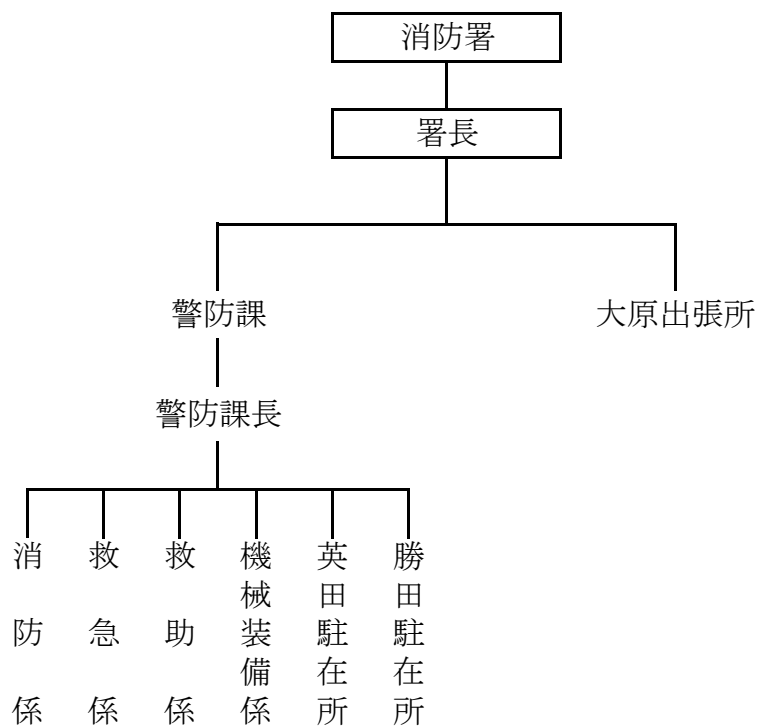
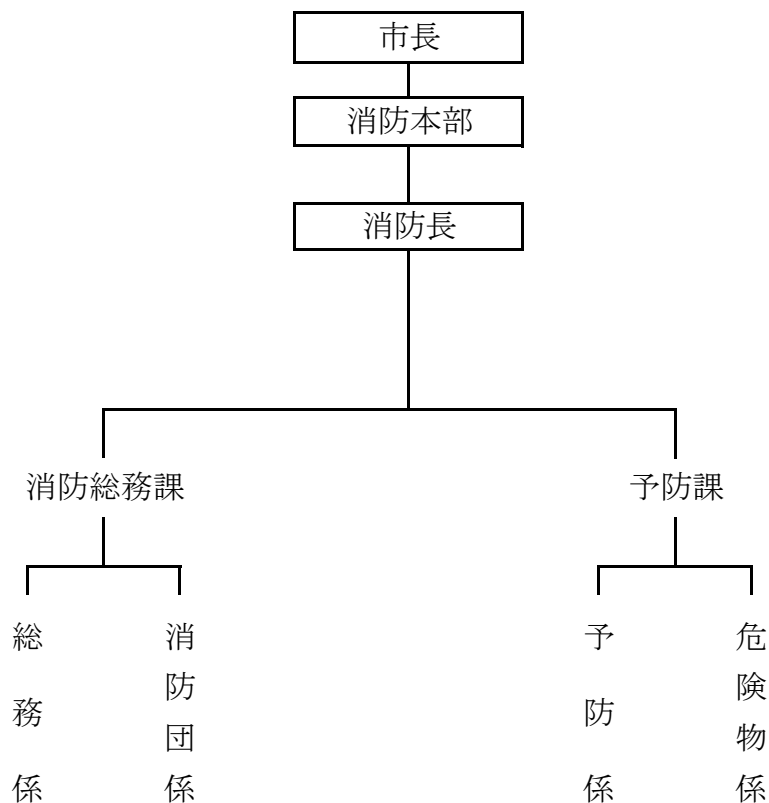


庁舎付近案内図



美作市消防本部の組織と機構

令和8年4月1日現在



総務

消防吏員・・・・・・・・・・定員 65 名

// ・・・・・・・・・・実員 65 名

// ・・・・・・・・平均年齢 38.2 歳

(令和 8 年 4 月 1 日現在)



1. 消防吏員の定員、実員及び配置

(令和8年4月1日現在)

区分		階級別	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	見 習	合 計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	消防士		
定 員			65							
実 員			1	15	15	20	0	10	4	65
消 防 本 部	消防 総務課	消 防 長	1							1
		課 長		1						1
		参 事								0
		課 長 補 佐		1						1
		総 務 主 幹								0
		総 務 係				2				2
		消 防 団 係								0
	予 防 課	総 務 課 付							4	4
		課 長		1						1
		参 事								0
		課 長 補 佐		1						1
		予 防 主 幹								0
		予 防 係				2				2
	消 防 署	警 防 課	危 険 物 係			1			1	
署 長				1						1
課 長				1						1
課 長 補 佐				2						2
主 幹				4						4
救 急 係					2	3		2		7
救 助 係					3	2				5
消 防 係					2	3				5
機 械 装 備 係				2	1		2		5	
救 急 駐 在			1	1		1		3		
出張所	大原出張所		1	4	4		4		13	
美作地区消防指令センター			2		2				4	

2. 消防吏員の階級別年齢状況

(令和8年4月1日現在)

年齢別		階級別	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	見 習	合 計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	消防士		
18 ~ 20							1	3		4
21 ~ 25							8	1		9
26 ~ 30					5		1			6
31 ~ 35					9					9
36 ~ 40				4	5					9
41 ~ 45			1	10	1					12
46 ~ 50			7	1						8
51 ~ 55			5							5
56 ~ 60		1	2							3
61 ~										0
合 計		1	15	15	20	0	10	4		65
平 均 年 齢		59	51.3	42.3	33.7	0	22.9	18		38.2

3. 職員の教養状況 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

学校教育

教育名	実施期間	派遣人員
第75期初任教育	令和7年4月3日～令和7年9月18日	1
消防大学校 第116期 警防科	令和7年6月12日～令和7年7月31日	1
第44期 救急救命士研修	令和7年8月27日～令和8年3月9日	1
第60期 初級幹部科	令和8年1月26日～令和8年2月6日	2
第11期中級幹部科	令和8年1月13日～令和8年1月21日	2
第29期 警防科	令和8年3月2日～令和8年3月13日	2
第33期 火災調査科	令和8年2月12日～令和8年2月26日	2
第30期 救急科	令和7年10月27日～令和7年12月23日	1
第51期 救助科	令和7年9月16日～令和7年10月17日	2
通信指令研修	令和7年12月3日～令和7年12月5日	1
実火災体験型訓練研修	令和7年10月30日 令和7年11月20日	各日2名 計4名

委託教育(資格取得)

教育名	派遣人員	教育名	派遣人員
玉掛け技能講習	2	小型移動式クレーン運転技能講習	2
二級小型船舶操縦士	1		

委託教育(教育・研修)

教育名	派遣人員	教育名	派遣人員
緊急車両運転者特別研修	1	予防技術検定	2
ドローン操縦技能講習	2	消防法令違反是正事例発表会	1
建物火災における屋内活動講習	1	消防実務講習会(警防)	1
スィフトウォーターレスキュー	1	予防技術講習会	1

4. 現有車両一覧表

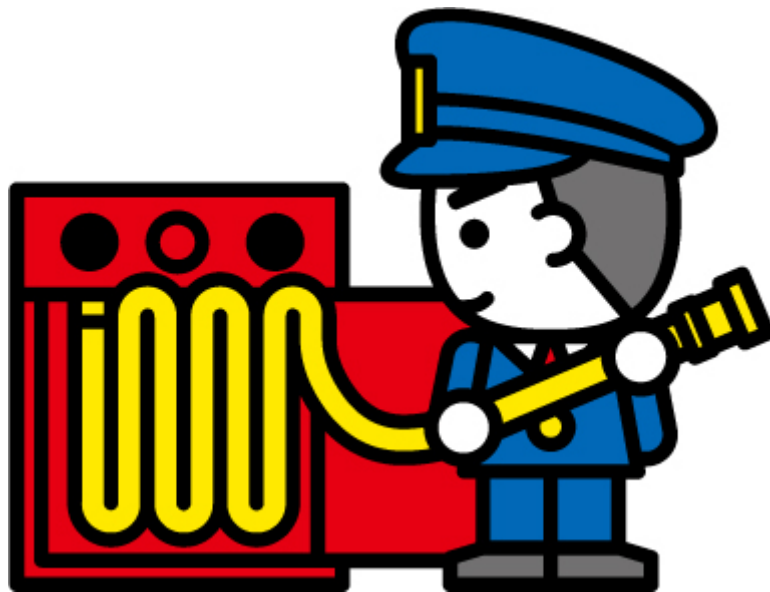
所属	車両名	年式	メーカー	登録番号	無線		原動機性能		性能	
					出力	呼出名称	気筒	排気量(cc)	放水量	級別
本部	指導車	平成22	トヨタ	岡山501め459			4	1,290		
	事務連絡車	平成29	スズキ	岡山480ち69-70			3	650		
	広報車	平成14	トヨタ	岡山100さ72-77	5W	みまさか9	4	2,430		
	通学実習車	令和5	トヨタ	岡山502は78-65			4	1,490		
	連絡車	令和2	ダイハツ	岡山480と38-60			3	650		
消防署	消防1号車	平成20	日野	岡山830さ634	5W	おおはら1	5	6,400	2.460m ³ /分	A-2
	消防2号車	平成29	日野	岡山800せ59	5W	みまさか2	4	4,009	2.00m ³ /分	A-2
	化学車	平成28	日野	岡山800は15-46	5W	みまさか4	6	6,400	2.40m ³ /分	A-2
	救助工作車	平成21	日野	岡山830る119	5W	みまさか12	6	6,400		
	救急1号車	令和5	日産	岡山800せ36-94	5W	みまさか8	4	2,480		
	救急2号車	令和元	トヨタ	岡山800せ17-43	5W	みまさか7	4	2,690		
	救急3号車	平成28	トヨタ	岡山800す94-81	5W	みまさか6	4	2,690		
	救急4号車	令和2	トヨタ	岡山800せ24-48	5W	みまさか10	4	2,690		
	指揮車	平成31	トヨタ	岡山800せ14-01	5W	みまさか5	4	2,690		
	資器材搬送車	平成24	トヨタ	岡山800す73-74	5W	みまさか11	4	4,000		
ボートトレーラー	平成20	ソレックス	岡山800る594							
大原出張所	大原消防車	令和7	日野	岡山830せ4938	5W	おおはら1	4	4,009	2.000m ³ /分	A-2
	大原救急車	令和8	トヨタ	岡山800せ53-25	5W	おおはら2	4	2,690		
	指揮車	平成20	トヨタ	岡山800す43-78	5W	おおはら3	4	1,490		

予 防

令和7年4月1日～令和8年3月31日の計数

防火対象物・・・・・・・・・・1, 236対象物
危険物施設・・・・・・・・・・148施設

(令和8年3月31日現在)



1. 防火対象物の概況と査察

項		美作	西粟倉	合計	査察	
1	イ	映画館・劇場	3		3	
	ロ	公会堂・集会場	71		71	5
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場、ダンスホール	1		1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス・遊興個室店等				
3	イ	待合料理店の類				
	ロ	飲食店	32	4	36	1
4		百貨店、マーケット等	45	1	46	3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	124	14	138	61
	ロ	共同住宅	94	3	97	4
6	イ	病院、診療所	16		16	4
	ロ	養護老人ホーム等(通所施設を除く)	19		19	8
	ハ	老人福祉センター・保育所等 (通所施設に限る)	33	5	38	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1	1	2	1
7		学校	58	4	62	7
8		図書館、博物館	3		3	1
9	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	1	4	3
10		停車場				
11		神社	9	3	12	1
12	イ	工場、作業場	200	8	208	32
	ロ	スタジオ				
13	イ	車庫、駐車場	26		26	5
	ロ	航空機の格納庫				
14		倉庫	120	7	127	24
15		前各号に該当しない事業場	173	4	177	13
16	イ	特定を含む複合用途	85	13	98	13
	ロ	上記以外の複合用途	45		45	4
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財	6	1	7	6
18		アーケード				
19		市町村の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合計			1167	69	1236	207

2. 法第8条該当防火対象物の状況

防火対象物の区分 (項)	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16 の 2	16 の 3	17	合計
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				
対象物数	3	60		1				17	25	26	12	6	14	13	1	18	1		1		3	15				1	24	48	2			1	292
防火管理者届出数	3	22		1				10	24	26	8	5	13	11	1	18	1		1		1	14				1	21	37				1	219
消防計画届出数	3	22		1				8	23	25	7	5	13	11	1	18	1		1		1	14				1	19	35				1	210

3. 消防用設備等の点検報告を要する防火対象物と受理件数

防火対象物の区分 (項)	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16 の 2	16 の 3	17	18	合計	
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ						イ
1,000㎡ 以上	対象物数	2	2		1			3	15	15	21	4	7	5		31	1		1			65		1		23	42	26	8				273		
	報告件数	2	2		1				14	11	19	2	5	4		31	1		1			52		1		19	32	23	7				227		
1,000㎡ 未満	対象物数	1	51					22	28	88	63	11	12	28	2	24	2		2		8	111		21		82	100	62	29			6	753		
	報告件数	1	22					6	16	56	20	6	10	21	2	23	2		2		1	58		15		48	70	24	12			6	421		
合計	対象物数	3	53	0	1	0	0	0	25	43	103	84	15	19	33	2	55	3	0	3	0	8	176	0	22	0	105	142	88	37	0	0	6	0	1026
	報告件数	3	24	0	1	0	0	0	6	30	67	39	8	15	25	2	54	3	0	3	0	1	110	0	16	0	67	102	47	19	0	0	6	0	648

4. 消防用設備等の届出及び検査状況

防火対象物の区分 (項)	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16 の 2	16 の 3	17	18	合計
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					
消防用設備等着工届		2							1		2		1									6					5	1					18	
消防用設備等設置届		1							1	8	1		1		1							9					5	6	1				34	
消防用設備等完成検査		1							1	8	1		1		1							9					5	6	1				34	

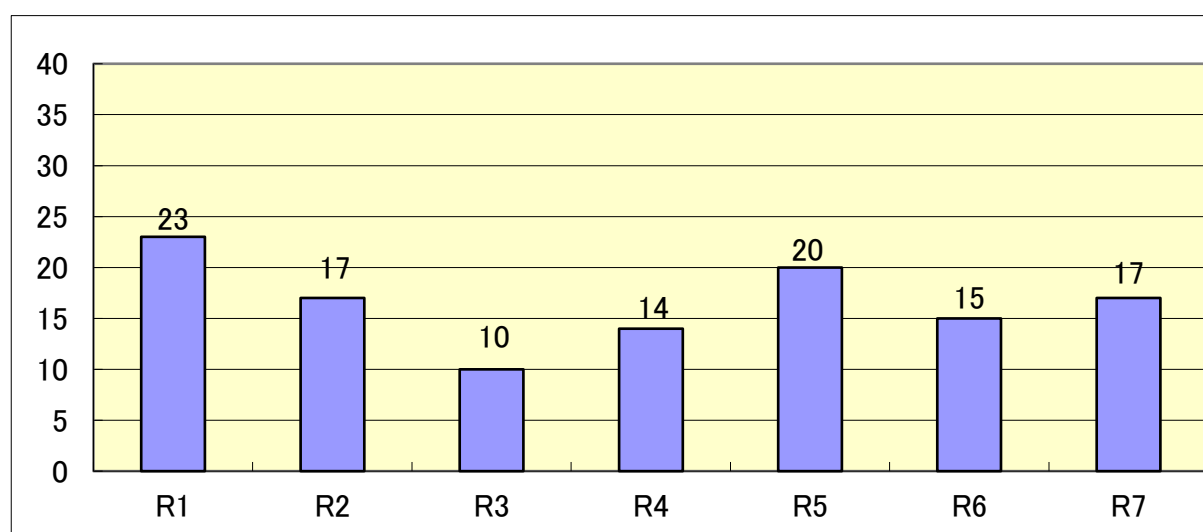
5. 防火講習会、避難訓練等指導状況

防火対象物の区分	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16 の 2	17	合計	
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				イ
件数		2								3	2	4	4	4	1	9			1			6				1	11	13				1	62

6. 建築同意事務処理状況

申請区分	同意 件数 A		不同意 件数 B	不同意の理由				総計 A+B
	指導無	指導有		構造	設備	避難	その他	
新築	15	15						15
増築	1	1						1
改築								0
移転								0
修繕								0
模様替								0
用途変更	1		1					1
その他								0
合計	17	16	1	0	0	0	0	17

7. 建築同意事務処理の推移



8.月別各種届出件数

届出種別	月別												合計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
炉・かまど設置届	1			1									2
ボイラー設置届		1	1		2	2				1		2	9
サウナ設備											3	2	5
変電設備設置届	1						1		1	1	1		5
発電設備設置届								1				1	2
蓄電池設備設置届				3		1		3	2				9
乾燥設備設置届													0
水素ガス気球設置届													0
少量危険物貯蔵取扱届			2	1	2	2		1	2				10
火災とまぎらわしい行為の届	15	6	8	6	8	4	14	15	30	51	49	69	275
煙火打上届			1	2			1			1			5
催物開催届								1					1
道路工事占用届	12	6	12	11	33	21	25	25	14	12	17	11	199
水道断水減水届							1						1
防火対象物使用開始届	7		3	1		10		4	1	3	2	3	34
防火管理者選任解任届	25	2	11	2		3	5	2	2		1	6	59
消防計画届	28	6	12	3	1	3	6	2	1			6	68
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱いの届							2		6			1	9
ネオン管灯設置届													0
指定可燃物	2	1	1		1								5
合計	91	22	51	30	47	46	55	54	59	69	73	101	698

9.市村別各種届出受理件数

届出種別	市村別 美作市	西粟倉村	合計
炉・かまど設置届	2		2
ボイラー設置届	9		9
サウナ設備	3	2	5
変電設備設置届	5		5
発電設備設置届	2		2
蓄電池設備設置届	4	5	9
乾燥設備設置届			0
水素ガス気球設置届			0
少量危険物貯蔵取扱届	10		10
火災とまぎらわしい行為の届	271	4	275
煙火打上届	5		5
催物開催届	1		1
道路工事占用届	191	8	199
水道断水減水届	1		1
防火対象物使用開始届	32	2	34
防火管理者選任解任届	55	4	59
消防計画届	63	5	68
圧縮アセチレンガス等の 貯蔵・取扱いの届	7	2	9
ネオン管灯設置届			0
指定可燃物	5		5
合計	666	32	698

10.各種届出受理件数(過去5年間の比較)

届出種別	年度				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
炉・かまど設置届	15	2	3	3	2
ボイラー設置届	2	11	9	6	9
サウナ設備	2		1	1	5
変電設備設置届	5	4	6	12	5
発電設備設置届	2	4	3	5	2
蓄電池設備設置届	5	5	3	6	9
乾燥設備設置届			1		
水素ガス気球設置届					
少量危険物貯蔵取扱届	3	13	10	10	10
火災とまぎらわしい行為の届	186			169	275
煙火打上届	4		1	3	5
催物開催届					1
道路工事占用届	83			162	199
水道断水減水届					1
防火対象物使用開始届	39	28	27	31	34
防火管理者選任解任届	53	49	41	41	59
消防計画届	57	56	51	46	68
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱いの届	7	8	11	11	9
ネオン管灯設置届					
指定可燃物		1	1	2	5
合 計	463	181	168	508	698

11.市村別危険物施設状況

種 別		市 村 別		合 計
		美作市	西粟倉村	
製 造 所		3		3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	22	1	23
	屋外タンク貯蔵所	7		7
	屋内タンク貯蔵所	3		3
	地下タンク貯蔵所	33	1	34
	簡易タンク貯蔵所	4		4
	移動タンク貯蔵所	15		15
	屋 外 貯 蔵 所	2		2
	小 計	86	2	88
取 扱 所	給 油 取 扱 所	28	1	29
	一 般 取 扱 所	28		28
	第 一 種 取 扱 所			0
	第 二 種 取 扱 所			0
	小 計	56	1	57
合 計		145	3	148

12.危険物数量別施設状況

数量別 区分		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を超え 5,000倍以下	5,000倍を超え 10,000倍以下	10,000倍を 超えるもの	総計
		59	32	23	13	9	4	8	0	0	0	
製造所				1		1		1				3
貯蔵所	小計	42	22	10	7	4	0	3	0	0	0	88
	屋内貯蔵所	12	7		2	2						23
	屋外タンク貯蔵所	2	2	3								7
	屋内タンク貯蔵所		3									3
	地下タンク貯蔵所	12	10	5	2	2		3				34
	簡易タンク貯蔵所	4										4
	移動タンク貯蔵所	12			3							15
	屋外貯蔵所			2								2
取扱所	小計	17	10	12	6	4	4	4	0	0	0	57
	給油取扱所	3	3	5	6	4	4	4				29
	第1種取扱所											0
	第2種取扱所											0
	一般取扱所	14	7	7								28

13. 危険物関係事務処理状況

製造所等の別 事務内容		製造所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所	
許 可	設 置		1	1						1			3
	変 更	2					2		1				5
完 成 検 査	設 置		1	1						1			3
	変 更	2					2		1				5
タンク検査	水 張												0
	水 圧												0
仮 使 用 承 認		1							1				2
類・品名・数量変更		1											1
廃 止 届					3		1		2	1			7
変 更 届		1	4		1	4	7		9	2			28
合 計												54	

14. 危険物関係査察実施状況

区分	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	小計	
施設数	3	23	7	3	34	4	15	2	88	29	28			57	148
査察件数	2	9	1	1	15	2	6	2	36	18	9			27	65
査察率(%)	67%	39%	14%	33%	44%	50%	40%	100%	41%	62%	32%			47%	44%

15.過去5年間の施設別設置許可件数

種別	年度別				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
製 造 所					
屋 内 貯 蔵 所					1
屋外タンク貯蔵所					1
屋内タンク貯蔵所					
地下タンク貯蔵所		1	2		
簡易タンク貯蔵所					
移動タンク貯蔵所		1			
屋 外 貯 蔵 所					
給 油 取 扱 所					
一 般 取 扱 所		1	1		1
合 計	0	3	3	0	3

火 災

建物火災	6件
林野火災	0件
車両火災	2件
その他の火災	22件
合 計	30件

令和7年 火災の概要

1 火災件数

令和7年中における火災の総件数は30件で、昨年より2件増加しました。

市町村別にみますと、美作市は30件、西粟倉村が0件でした。

また、火災種別をみますと、建物火災は6件（前年比－5件）、車両火災は2件（前年比＋1件）、林野火災は0件（前年比同件数）、その他の火災^{※1}は22件（前年比＋6件）発生しています。

全件数のうち、その他の火災が全火災の73%を占めています。

出火率^{※2}については、美作市消防本部管内が11.7件/万人でした（令和6年全国(確定値)3.1件/万人）。

2 火災損害及び建物焼損面積

令和7年中の火災損害額は25,882千円（前年比－40,338千円）となっており、このうち建物火災の損害額は25,522千円（前年比－28,287千円）、建物焼損床面積は650㎡（前年比－189㎡）、建物焼損表面積は21㎡（前年比＋10㎡）となっています。

また、焼損棟数については14棟（前年比－2棟）となっており、このうち全焼は5棟（前年比－2件）、半焼は1棟（前年比－1件）、部分焼は4棟（前年比同件数）、ぼやは4棟（前年比＋1）となっています。

3 火災による死傷者

令和7年中の火災による死者^{※3}は1人で、前年と同人数であり、その他の火災によって死亡しています。

また、負傷者は2人で、前年と比較して4人減少しており、車両火災とその他の火災で1人ずつ負傷しています。

4 出火原因

出火原因の割合は、「火入れ」が最も多く14件（47%）、「その他^{※4}」が6件（20%）、「たばこ」が3件（10%）、「電気機器」が2件（7%）、「不明」が2件（7%）とつづき、「配線器具」、「放火の疑い」、「放火」が各1件となっています。

「火入れ」が原因で発生した火災の14件全てが、刈り取った草や枯草を焼却中に、他に延焼し火災となっています。

5 住宅用火災警報器の設置状況

令和7年中の建物火災のうち、空き家や物置などを除く住宅用火災警報器を設置しなければならない建物は5棟ありましたが、5棟全てに住宅用火災警報器は設置されておりませんでした。

6 火災の傾向及び今後の対策

火災総件数については、過去5年間19件から30件で推移していますが、出火原因はいずれも「火入れ」が最も多くなっています。

月別の火災件数を見てみると、火災総件数30件のうち7件が3月に発生しており、7件のうちその他の火災が6件を占めています。

また、曜日、時間別に見ると、曜日別は水曜日と金曜日の火災発生が最も多くなっており、時間別は、12時から16時に多く発生している傾向です。

このことから分かるように、日中に行う枯草焼きなどが燃え広がり、火災件数の増加につながっているものと考えられます。

出火率は全国平均の3.1件/万人と比較しても、約3.8倍の11.7件/万人となっていることから、火災件数の増加につながる枯草焼きなどについて、より一層、注意喚起を行う必要があります。

※1 火災種別のうち、建物火災、林野火災、車両火災、船舶火災、航空機火災のいずれにも該当しないものを「その他の火災」として分類しています。

※2 出火率とは人口1万人あたりの出火件数です。

人口については、令和7年12月31日現在の美作市及び令和8年1月1日現在の西粟倉村の住民基本台帳に基づいています(美作市24,287人、西粟倉村1,297人、合計25,584人)。

※3 火災による負傷後48時間以内に死亡した者を、「火災による死者」としています。

※4 その他の原因とは、製品の切り忘れや、金属加工による火花などからによる出火を総称しています。

(注1) 割合(%)については、小数点以下を四捨五入して計算しているため、合計が100%とならない場合があります。

(注2) 表1の出火率は管内(美作市、西粟倉村)であり、表2の出火率は美作市と西粟倉村とを分けているため、表1と表2の出火率は同じではありません。

1 火災発生状況及び前年との比較

区分		令和7年(A)	令和6年(B)	対象年増減数(A-B)
火災(件数)	総件数	30	28	2
	建物火災	6	11	▲ 5
	林野火災	0	0	0
	車両火災	2	1	1
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	22	16	6
焼損(棟数)	総数	14	16	▲ 2
	全焼	5	7	▲ 2
	半焼	1	2	▲ 1
	部分焼	4	4	0
	ぼや	4	3	1
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	650	839	▲ 189
	建物焼損表面積(m ²)	21	11	10
	林野焼損面積(a)	2	1	1
焼損台数(台)		2	2	0
死(傷人者)	死者	1	1	0
	負傷者	2	6	▲ 4
り(災世帯)	総数	5	8	▲ 3
	全損	2	4	▲ 2
	半損	0	1	▲ 1
	小損	3	3	0
損害額(千円)	合計	25,882	66,220	▲ 40,338
	建物火災	25,522	53,809	▲ 28,287
	林野火災	0	0	0
	車両火災	349	2,008	▲ 1,659
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	11	12	▲ 1
	爆発	0	10,391	▲ 10,391
出火率(件/万人)		11.7	10.7	1.0

2 市村別・月別・種別別火災発生状況

区分	市町村	火災件数(件)							焼損棟数(棟)	り災		焼損面積			火災損害額(千円)	死傷者		出火率(件)
		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		世帯数(世帯)	人員(人)	建物		林野(a)		死者(人)	負傷者(人)	
												床面積(m ²)	表面積(m ²)					
1月	美作市	4						4						5	1			
	西粟倉村	0																
2月	美作市	2	1					1	7	2	4	182	5		7,026			
	西粟倉村	0																
3月	美作市	7	1					6	2	1	1	192		2	11,239			
	西粟倉村	0																
4月	美作市	2	1					1	1						1,890			
	西粟倉村	0																
5月	美作市	0																
	西粟倉村	0																
6月	美作市	4	1					3	1						439			
	西粟倉村	0																
7月	美作市	0																
	西粟倉村	0																
8月	美作市	6	1					5	2	1	1	269	16		4,868			
	西粟倉村	0																
9月	美作市	4			2			2							349			2
	西粟倉村	0																
10月	美作市	1	1						1	1	4	7			66			
	西粟倉村	0																
11月	美作市	0																
	西粟倉村	0																
12月	美作市	0																
	西粟倉村	0																
合計	美作市	30	6	0	2	0	0	22	14	5	10	650	21	2	25,882	1	2	12.4
	西粟倉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	30	6	0	2	0	0	22	14	5	10	650	21	2	25,882	1	2	

3 曜日・時間別火災発生状況

区分	火災件数(件)							構成比(%)	焼損棟数(棟)	り災		焼損面積			火災損害額(千円)	死傷者	
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他			世帯数(世帯)	人員(人)	建物		林野(a)		死者(人)	負傷者(人)
												床面積(m ²)	表面積(m ²)				
曜日別火災発生状況	日曜日	4	1				3	13	2	1	1	192		2	11,235		
	月曜日	2	1		1			7	1	1	4	7			180		1
	火曜日	3	2				1	10	8	2	4	182	5		7,463		1
	水曜日	6	1				5	20	1						1,891	1	
	木曜日	4					4	13							2		
	金曜日	6			1		5	20							239		
	土曜日	5	1				4	17	2	1	1	269	16		4,872		
	合計	30	6	0	2	0	0	22	100	14	5	10	650	21	2	25,882	1
時間別火災発生状況	0～2	1	1					3	7	2	4	182	5		7,024		
	2～4	0						0									
	4～6	2	1				1	7	1	1	4	7			66		
	6～8	0						0									
	8～10	2	1				1	7	2	1	1	192		2	11,235		1
	10～12	5	1		1		3	17	2	1	1	269	16		5,104	1	
	12～14	8	1				7	27	1						447		
	14～16	8	1		1		6	27	1						2,004		1
	16～18	3					3	10							2		
	18～20	1					1	3									
	20～22	0						0									
	22～24	0						0									
	不明	0						0									
合計	30	6	0	2	0	0	22	100	14	5	10	650	21	2	25,882	1	2

4 市村別建物火災程度・損害状況

区分	火元(棟)				類焼(棟)				り災		焼損面積			焼損車両(台)	火災損害額(千円)	死傷者	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	世帯数(世帯)	人員(人)	建物		林野(a)			死者(人)	負傷者(人)
											床面積(m ²)	表面積(m ²)					
美作市	3		1	2		1	3	2	5	10	650	21	2	2	25,882	1	2
西粟倉村																	
合計	3	0	1	2	2	1	3	2	5	10	650	21	2	2	25,882	1	2

区分	火災損害額(千円)						
	建物火災			林野	車両	その他	合計
	建物	収容物	小計				
美作市	21,191	4,331	25,522	0	349	11	25,882
西粟倉村	0	0	0	0	0	0	0
合計	21,191	4,331	25,522	0	349	11	25,882

5 原因別火災発生状況

区分	火災件数(件)							構成比(%)	焼損棟数(棟)	り災		焼損面積			火災損害額(千円)	死傷者	
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他			世帯数(世帯)	人員(人)	建物		林野(a)		死者(人)	負傷者(人)
												床面積(m ²)	表面積(m ²)				
たばこ	3	1					2	10	2	1	1	269	16		4,868		
こんろ	0							0									
こたつ	0							0									
風呂かまど	0							0									
炉	0							0									
焼却炉	0							0									
ストーブ	0							0									
ボイラー	0							0									
煙突・煙道	0							0									
排気管	0							0									
電気機器	2	2						7	2	1	4	7			505		
電灯・電話等の配線	0							0									
内燃機関	0							0									
配線器具	1	1						3	7	2	4	182	5		7,024		
火あそび	0							0									
マッチ・ライター	0							0									
たき火	0							0									
溶接機・溶断機	0							0									
灯火	0							0									
衝突の火花	0							0									
取灰	0							0									
火入れ	14						14	47							10		
放火	1						1	3							1	1	
放火の疑い	1			1				3							114		1
不明	2			1			1	7							235		
その他	6	2					4	20	3	1	1	192		2	13,125		1
合計	30	6	0	2	0	0	22	100	14	5	10	650	21	2	25,882	1	2

6 過去5年間の火災発生状況

区分		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災(件数)	総数	19	29	28	28	30
	建物火災	6	9	8	11	6
	林野火災	2	7	5	0	0
	車両火災	3	1	3	1	2
	船舶火災	0	0	0	0	0
	航空機火災	0	0	0	0	0
	その他の火災	8	12	12	16	22
焼損(棟数)	総数	16	11	13	16	14
	全焼	11	1	6	7	5
	半焼	1	2	0	2	1
	部分焼	2	6	4	4	4
	ぼや	2	2	3	3	4
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	1,043	207	571	839	650
	建物焼損表面積(m ²)	73	18	9	11	21
	林野焼損面積(a)	2	1	1,114	1	2
焼損台数(台)		4	4	5	2	2
死(傷人)	死者	1	0	1	1	1
	負傷者	1	5	7	6	2
り(世帯)	総数	4	4	5	8	5
	全損	4	1	2	4	2
	半損	0	0	0	1	0
	小損	0	3	3	3	3
火災損害額(千円)	合計	43,965	27,225	18,493	66,220	25,882
	建物火災	42,794	26,838	15,092	53,809	25,522
	林野火災	19	41	1,562	0	0
	車両火災	916	320	1,742	2,008	349
	船舶火災	0	0	0	0	0
	航空機火災	0	0	0	0	0
	その他の火災	236	26	97	12	11
	爆発	0	0	0	10,391	0
出火率(件/万人)		6.4	10.6	10.4	10.7	11.7

7 過去5年間の火災発生状況と主な出火原因

区分		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数(件)		19	29	28	28	30
火災損害額(千円)		43,959	27,225	18,493	66,220	25,882
1	出火原因	火入れ	火入れ	火入れ	火入れ	火入れ
	件数(件)	7	14	9	8	14
2	出火原因	たばこ	ストーブ	その他	放火の疑い	その他
	件数(件)	3	2	7	6	6
3	出火原因	不明	煙突・煙道	たばこ	その他	たばこ
	件数(件)	3	1	2	4	3
4	出火原因	放火	放火	たき火	配線器具	電気機器
	件数(件)	1	1	2	2	2
5	出火原因	風呂かまど	風呂かまど	放火の疑い	不明	不明
	件数(件)	1	1	2	2	2

救 急

出場件数 1,952 件

1 日平均 5.3 件

搬送人員 1,828 人

令和7年 救急の概要

令和7年中の美作消防の救急出場件数は1,952件、救急搬送人員は1,828人となりました。昨年と比較すると出場件数は49件、搬送人員は23人の増加となりました。

令和6年中の岡山県救急出場件数は105,314件、全国救急出場件数は772万740件となっています。

1. 救急出場件数は1日平均5.3件。管内人口の14人に1人が救急搬送されたこととなります。
2. 救急による搬送人員のうち、65歳以上の高齢者の占める割合が高く76.5%（全搬送人員の内1,398人）で、前年の75.6%から0.9%の増加となりました。
3. 事故種別別出場件数は、急病1,206件（61.8%）、一般負傷334件（17.1%）、転院搬送264件（13.5%）、交通66件（3.4%）の順となっています。
4. 署所別の救急出場件数は、本署1,502件（76.9%）、大原出張所393件（20.1%）、英田駐在所32件（1.6%）、勝田駐在所25件（1.3%）となっています。
5. 現場到着所要時間は、覚知（119番通報）から平均で12.1分となっており、医療機関等収容所要時間は覚知から平均51.0分となっています。

1. 月別救急出場件数

(単位：件)

区分 月別	救急事故種別												出場件数
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
1月	0	0	0	3	2	2	29	1	1	135	34	0	207
2月	0	0	0	4	1	1	29	0	2	94	28	0	159
3月	0	0	0	3	1	2	22	0	1	108	22	2	161
4月	0	0	0	1	1	3	35	0	2	88	13	0	143
5月	0	0	0	5	0	5	31	0	0	101	28	3	173
6月	0	0	0	12	3	4	26	0	0	107	18	1	171
7月	0	0	0	10	3	2	26	1	0	98	28	0	168
8月	0	0	0	9	2	7	30	0	0	100	19	1	168
9月	1	0	0	1	3	3	23	1	1	95	25	1	154
10月	0	0	0	11	2	5	32	0	1	96	14	0	161
11月	0	0	0	2	0	5	26	0	1	84	19	0	137
12月	0	0	0	5	1	1	25	1	1	100	16	0	150
合計	1	0	0	66	19	40	334	4	10	1,206	264	8	1,952

最も多い月は1月で207件、最も少ないのは11月で137件となり、救急件数は昨年比49件の増加となっています。1月は季節性のインフルエンザ感染症や、依然続く新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、救急件数が増加したと考えられます。

救急種別件数では「急病」1,206件(+13件)、「一般負傷」334件(+18件)、「交通事故」66件(-15件)、「その他」346件(+33件)となっています。「その他」には転院搬送264件が含まれています。

2. 月別救急搬送人員

(単位：人)

区分 月別	救急事故種別												搬送人員
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
1月	0	0	0	2	2	2	28	1	0	127	33	0	195
2月	0	0	0	4	1	1	28	0	0	87	28	0	149
3月	0	0	0	3	1	2	21	0	1	99	22	0	149
4月	0	0	0	1	1	3	34	0	0	78	13	0	130
5月	0	0	0	4	0	5	30	0	0	87	27	0	153
6月	0	0	0	12	3	4	26	0	0	96	18	0	159
7月	0	0	0	9	3	2	24	1	0	89	28	0	156
8月	0	0	0	12	2	8	29	0	0	99	18	0	168
9月	1	0	0	1	2	3	23	0	0	90	25	0	145
10月	0	0	0	10	2	5	31	0	0	94	14	0	156
11月	0	0	0	2	0	5	24	0	0	79	19	0	129
12月	0	0	0	5	1	1	22	1	1	92	16	0	139
合計	1	0	0	65	18	41	320	3	2	1,117	261	0	1,828

急病が全搬送人員の61.1%（1,117人）を占めており、一般負傷17.5%（320人）、転院搬送14.3%（261人）の順になっています。

3. 出場場所地区別救急出場件数

(単位：件)

		美作市	西粟倉村	高速道路	管轄外	高規格道路	合計
救急事故 種別	火災	1	0	0	0	0	1
	自然災害	0	0	0	0	0	0
	水難	0	0	0	0	0	0
	交通事故	53	4	5	0	4	66
	労働災害	17	2	0	0	0	19
	運動競技	40	0	0	0	0	40
	一般負傷	322	9	3	0	0	334
	加害	4	0	0	0	0	4
	自損行為	10	0	0	0	0	10
	急病	1,157	46	3	0	0	1,206
	転院搬送	263	1	0	0	0	264
	その他	7	0	1	0	0	8
	合計	1,874	62	12	0	4	1,952

高規格道路とは鳥取自動車道及び美作岡山道路をさし、高速道路とは中国自動車道をさします。美作市が出場件数の96%（1,874件）を占めており、西粟倉村が3.2%（62件）となっています。

4. 署所別出場件数及び搬送人員

(単位：件)

	本署	出張所	英田駐在	勝田駐在	合計
出場件数	1,502	393	32	25	1,952
搬送人員	1,408	369	31	20	1,828

英田駐在は、英田地域の英田青野、尾谷、福本、奥、井口、三保原、真神、中川、上山、横尾、北、南、滝宮、作東地域の国貞、万善、柿ヶ原、鈴家、田淵地区に出場します。

勝田駐在は、勝田地域の右手、真殿、梶並、楮、久賀、東谷上・東谷下、清後地区を除く余野、長谷内、作東地域の梶原、小房、粟井中、小野、鷺巣地区に出場します。

各駐在の出場件数は、駐在滞在時の出場件数になります。

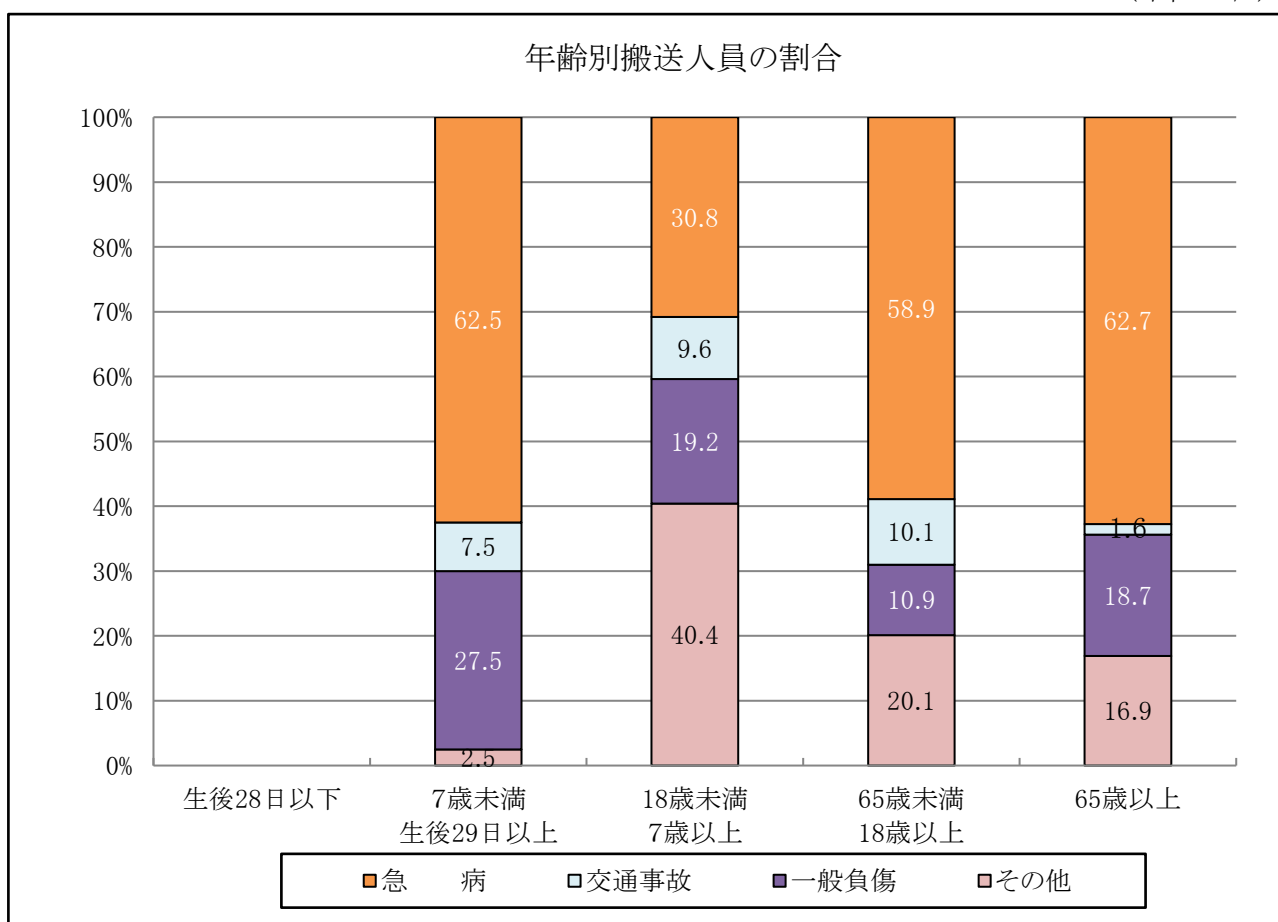
本署からの出場が76.9%（1,502件）、大原出張所が20.1%（393件）となっています。

5. 年齢別搬送人員

(単位：人)

	生後28日以下	生後29日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
急病	0	25	16	199	877	1,117
交通事故	0	3	5	34	23	65
一般負傷	0	11	10	37	262	320
その他	0	1	21	68	236	326
合計	0	40	52	338	1,398	1,828

(単位：%)



※ 「その他」の内訳

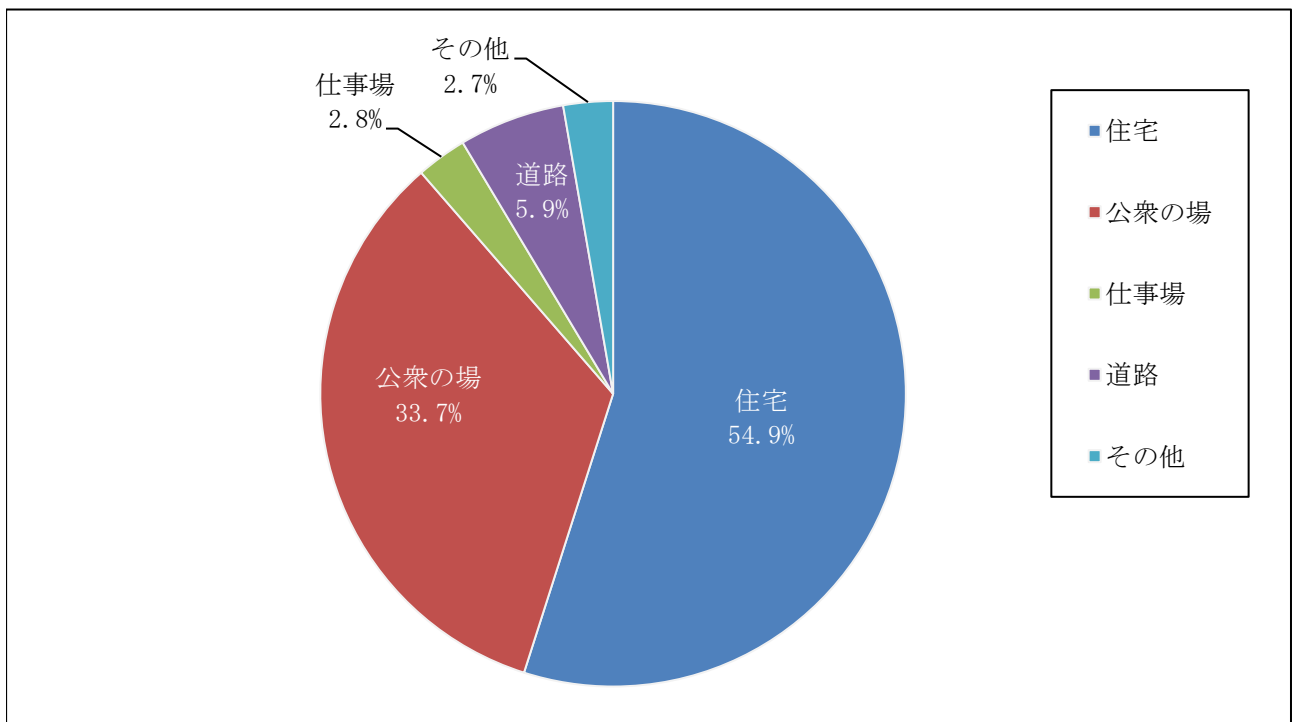
「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「転院搬送」

搬送人員のうち65歳以上の占める割合は76.5% (1,398人) となっており、搬送された65歳以上の急病割合は62.7% (877人) となっています。

6. 事故発生場所区分別搬送人員

(単位：人)

	住 宅	公 衆 の 場	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	807	240	32	21	17	1,117
交 通 事 故	1	1	0	62	1	65
一 般 負 傷	193	72	5	24	26	320
そ の 他	3	303	14	0	6	326
合 計	1,004	616	51	107	50	1,828

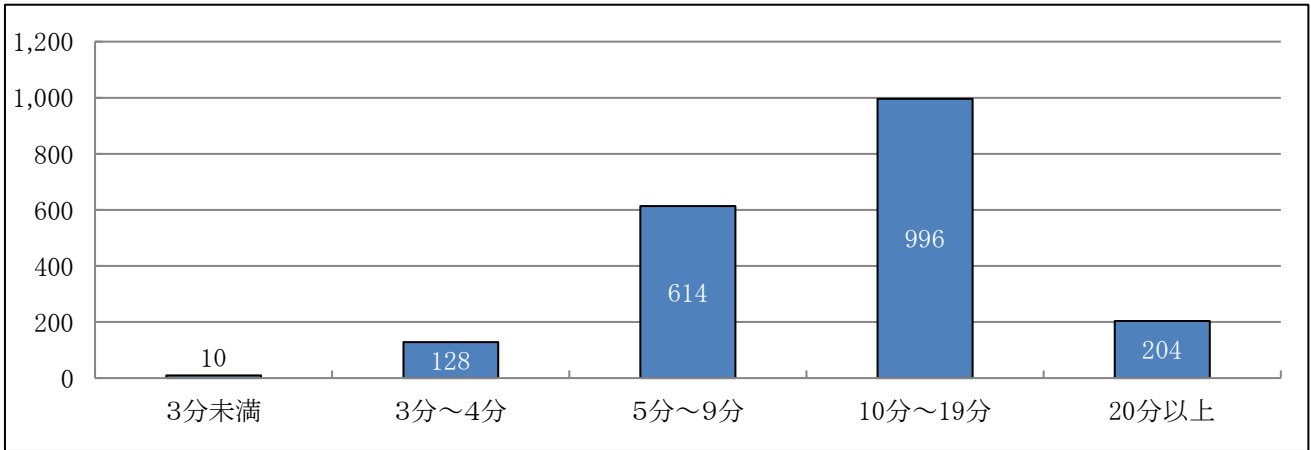


事故発生場所で最も多いのは住宅で、搬送人員の54.9% (1,004人) を占めています。住宅内で最も多い箇所は、居間や寝室を含む居室 (748人)、次いで廊下、庭 (共に68人)、台所 (48人) の順となっています。

次に多いのが公衆の場で33.7% (616人) となっており、この中には転院搬送が含まれています。内訳として最も多い場所は、病院・診療所 (198人)、次いで老人福祉施設等 (177人)、運動場・競技場・各種スポーツ施設 (42人)、旅館・ホテル (35人) となっています。

7. 現場到着所要時間別出場件数

(単位：件)

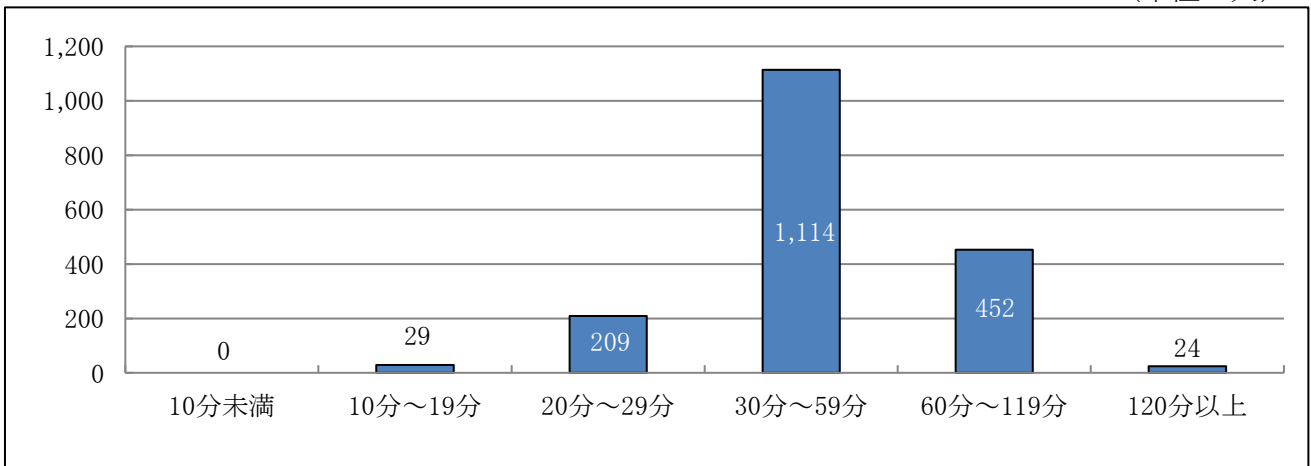


	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
3分未満	4	0	0	6	10
3分～4分	38	2	9	79	128
5分～9分	365	18	84	147	614
10分～19分	674	39	197	86	996
20分以上	125	7	44	28	204
合計	1,206	66	334	346	1,952

119番通報から現場に到着するまでに要した時間別出場件数を割合で見ると、38.5% (752件) は10分未満に到着していますが、10.5% (204件) は20分以上の時間を要しました。時間を要した理由は、現場が遠い又は管轄署所外への応援出場等が考えられます。

8. 医療機関等への収容時間別搬送人員

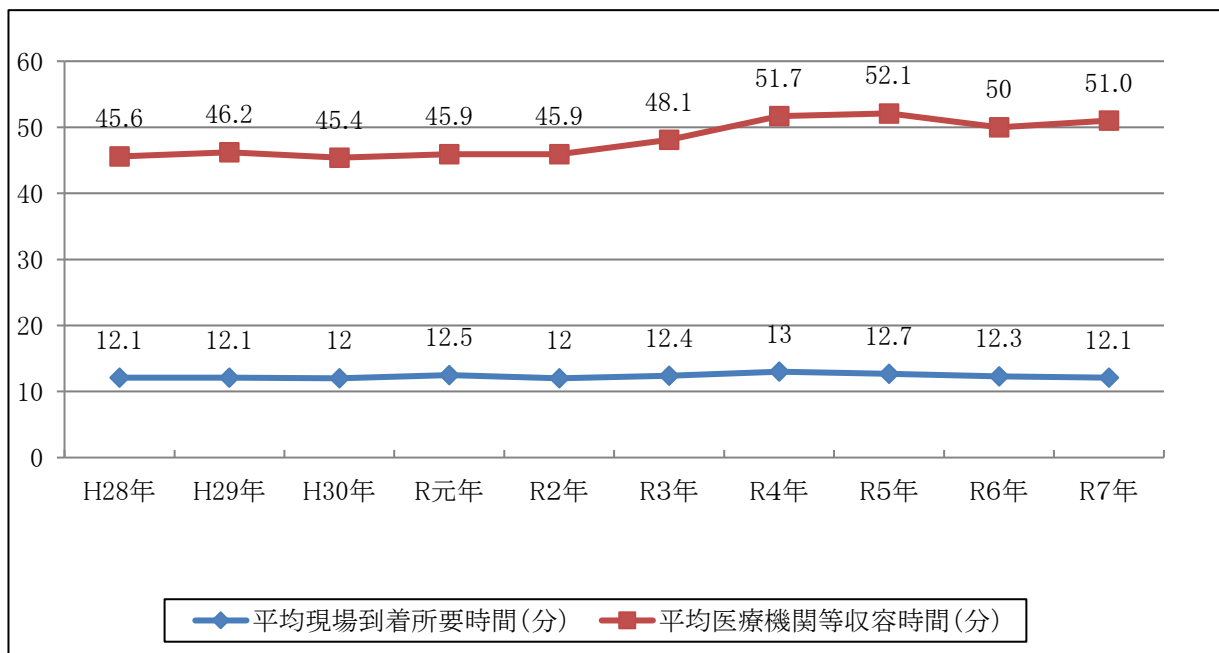
(単位：人)



	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
10分未満	0	0	0	0	0
10分～19分	20	1	4	4	29
20分～29分	110	2	35	62	209
30分～59分	735	32	176	171	1,114
60分～119分	244	29	99	80	452
120分以上	8	1	6	9	24
合計	1,117	65	320	326	1,828

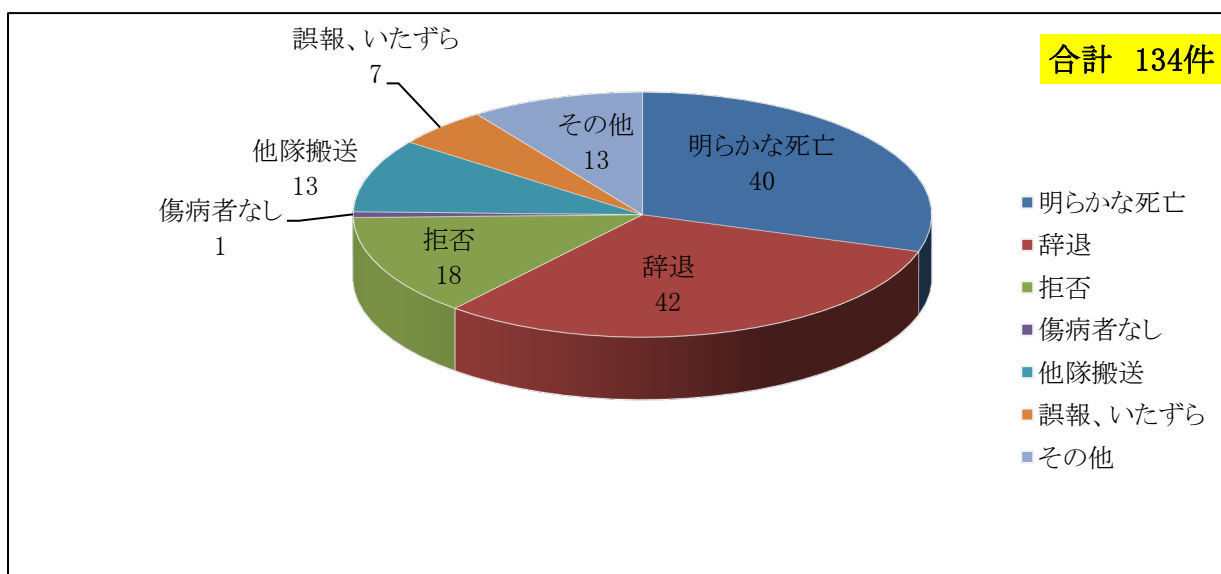
119番通報から医療機関へ収容するまでに要した時間別搬送人員を割合で見ると、74% (1,352人) は1時間未満に収容できましたが、26% (476人) は1時間以上の時間がかかっています。1時間以上要した理由は、現場から医療機関までの距離が長いこと、管轄外への転院搬送、受入先医療機関が決定しないこと等が考えられます。

9. 現場到着所要時間、医療機関等収容時間の推移状況 (単位:分)



現場到着所要時間と医療機関等への収容時間の平均を表しています。
 近年現場到着所要時間はさほど変化はなく横ばいですが、医療機関等収容時間は10年前と比べると5.4分延伸しています。
 医療機関等収容時間が延伸している原因は、救急隊の処置の高度化、収容医療機関への照会数増加、遠方の医療機関へ搬送や転院搬送等が考えられます。

10. 不搬送理由別不搬送件数 (単位:件)

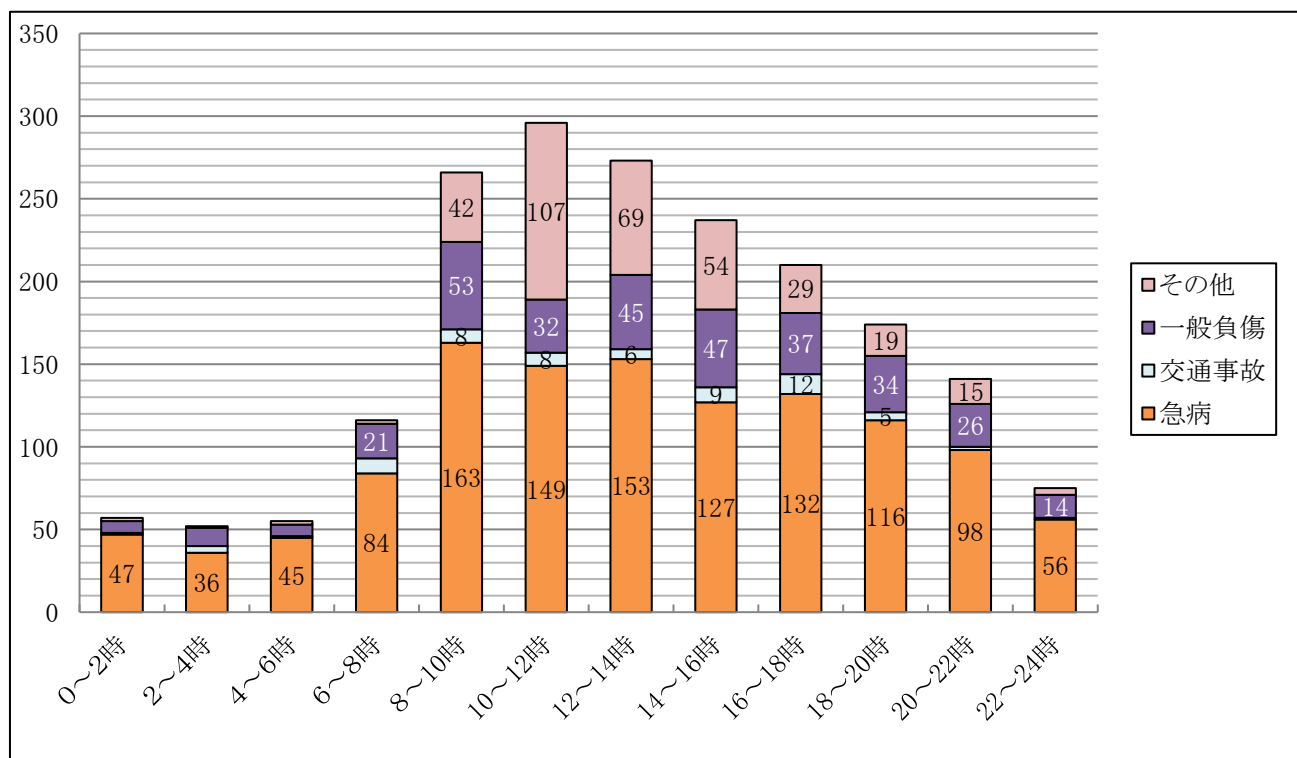


救急要請で出場したが、搬送に至らなかった事案は134件でした。
 その内最も多い不搬送理由が「辞退」で、42件あり、現場到着前の辞退が4件、現場到着後の辞退が38件でした。
 次に多い不搬送理由が40件の「死亡」で、これは救急隊到着時「明らかな死亡」と判断し搬送しなかったものです。

11. 時間帯別、事故種別別出場件数

(単位：件)

時間区分	事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
0～2時	0	0	0	1	0	0	7	0	0	47	1	1	57
2～4時	0	0	0	4	0	0	11	0	1	36	0	0	52
4～6時	0	0	0	1	0	0	7	0	0	45	2	0	55
6～8時	0	0	0	9	0	0	21	0	0	84	2	0	116
8～10時	1	0	0	8	5	1	53	0	0	163	35	0	266
10～12時	0	0	0	8	4	14	32	0	1	149	88	0	296
12～14時	0	0	0	6	4	9	45	0	0	153	55	1	273
14～16時	0	0	0	9	5	11	47	0	1	127	35	2	237
16～18時	0	0	0	12	1	4	37	0	1	132	21	2	210
18～20時	0	0	0	5	0	0	34	2	1	116	15	1	174
20～22時	0	0	0	2	0	1	26	2	2	98	9	1	141
22～24時	0	0	0	1	0	0	14	0	3	56	1	0	75
合計	1	0	0	66	19	40	334	4	10	1,206	264	8	1,952



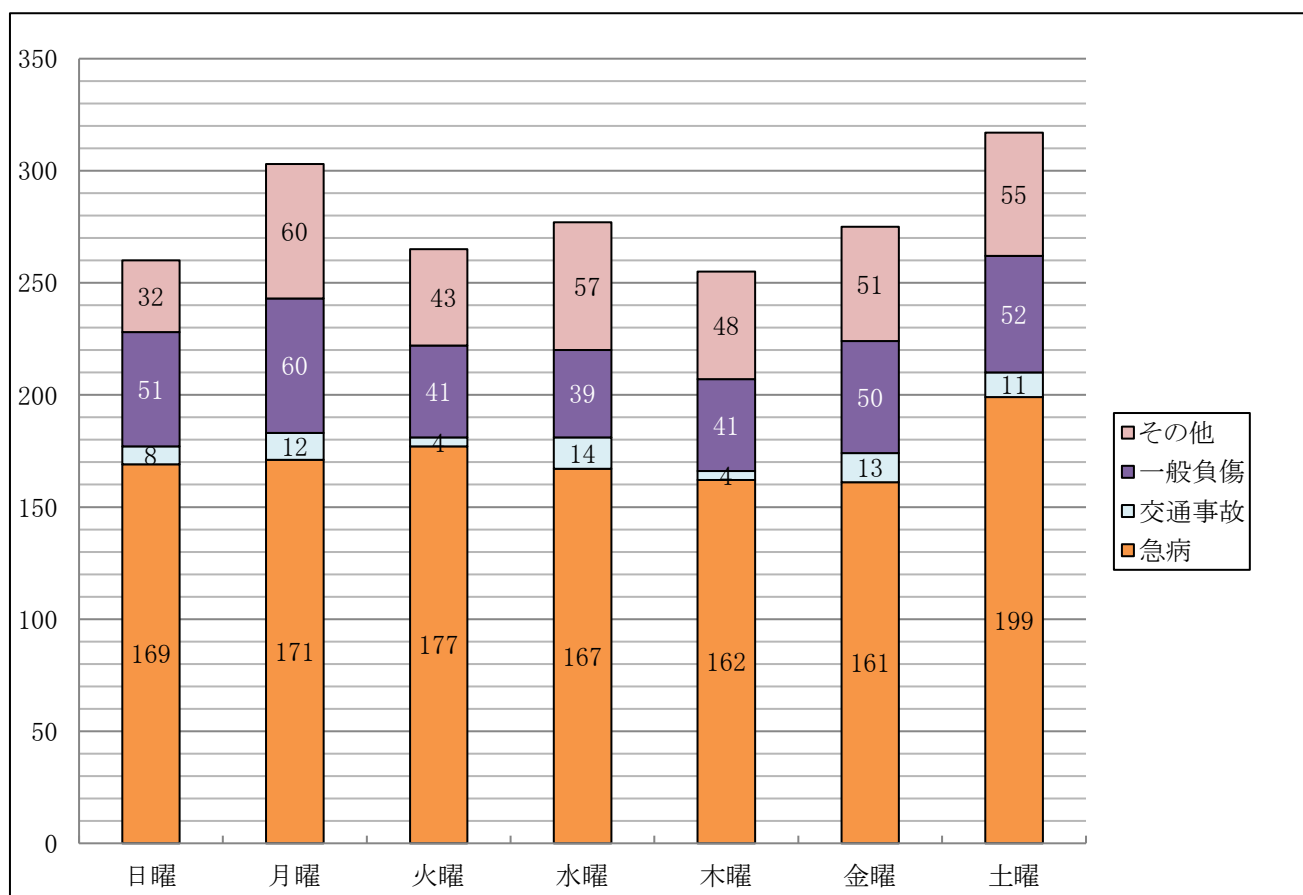
8時から18時の間は2時間当たり200件を超す出場となっています。22時～6時の間は2時間当たりの出場件数が100件を下回っており、人の活動と比例し出場が増えています。

事故種別別に見ると、急病は8時から20時の間で人の活動と共に多くなっており、交通事故にあつては6時から18時の間の通行量が多い時間帯に救急出場が多くなっています。

12. 曜日別、事故種別別出場件数

(単位：件)

区分 曜日	救急事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
日曜	0	0	0	8	1	15	51	1	1	169	11	3	260
月曜	0	0	0	12	4	1	60	2	1	171	52	0	303
火曜	1	0	0	4	3	2	41	0	3	177	33	1	265
水曜	0	0	0	14	3	6	39	0	2	167	46	0	277
木曜	0	0	0	4	1	3	41	0	2	162	40	2	255
金曜	0	0	0	13	6	1	50	0	0	161	43	1	275
土曜	0	0	0	11	1	12	52	1	1	199	39	1	317
合計	1	0	0	66	19	40	334	4	10	1,206	264	8	1,952



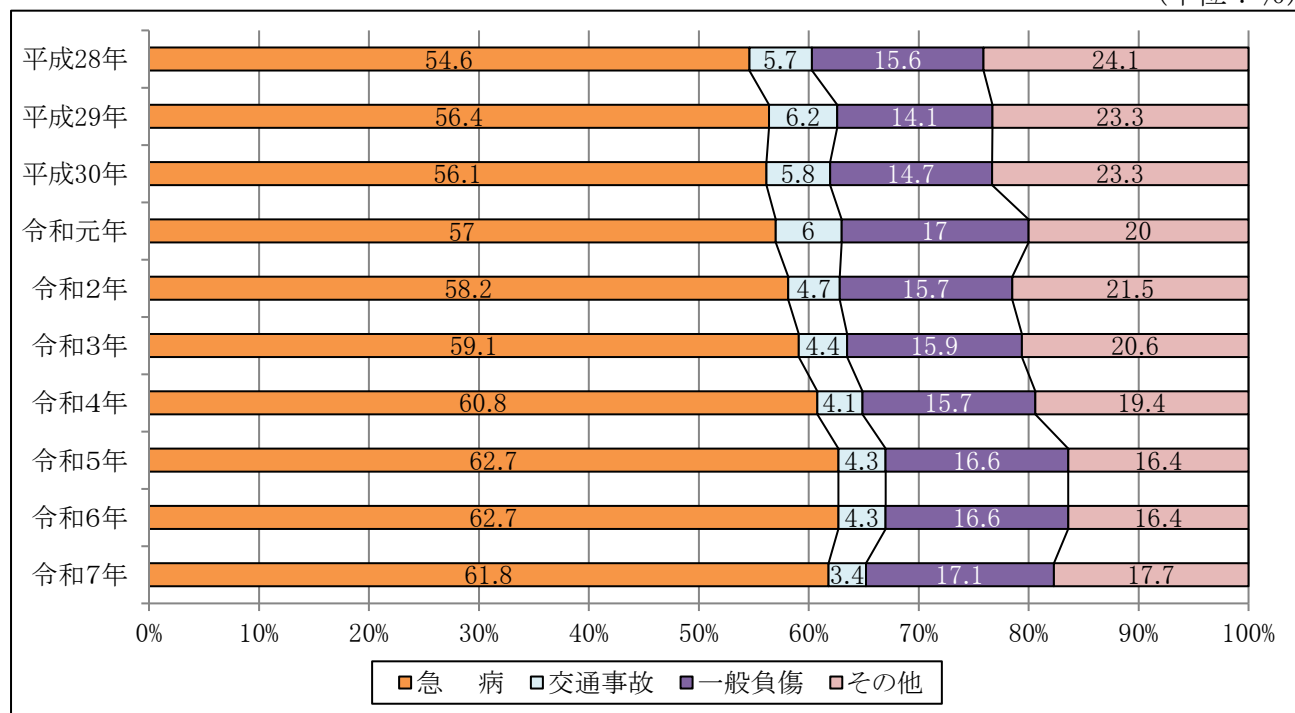
出場件数の内、土曜日（317件）が最も多く、次いで月曜日（303件）、水曜日（277件）の順になっています。事故種別別に見ると、運動競技は土曜日と日曜日が増加傾向であり、各種イベントへの参加により人の流れが多くなることが一因として考えられます。また、転院搬送にあつては、土曜日と日曜日に比べ、平日に多い傾向となっています。

13. 過去10年間の事故種別別出場件数

(単位：件)

区分 年別	救急事故種別												合 計
	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
平成28年	1	0	3	112	13	54	336	2	19	1,006	320	3	1,869
平成29年	2	0	2	111	17	49	304	3	14	1,065	378	5	1,950
平成30年	3	0	2	125	15	55	284	1	14	1,137	374	5	2,015
令和元年	5	0	1	111	36	44	280	6	7	1,066	339	5	1,900
令和2年	3	0	1	97	17	19	276	0	12	927	266	7	1,625
令和3年	1	0	1	77	23	38	258	3	10	956	270	7	1,644
令和4年	4	0	2	86	22	51	314	4	13	1,164	300	9	1,969
令和5年	5	0	1	83	21	50	319	5	21	1,238	287	6	2,036
令和6年	4	0	2	81	31	47	316	1	13	1,193	213	2	1,903
令和7年	1	0	0	66	19	40	334	4	10	1,206	264	8	1,952

(単位：%)



出場件数は1,952件で昨年と比べて49件増加しています。過去10年の平均出場件数(1,877件)と比べてみると75件多くなっています。

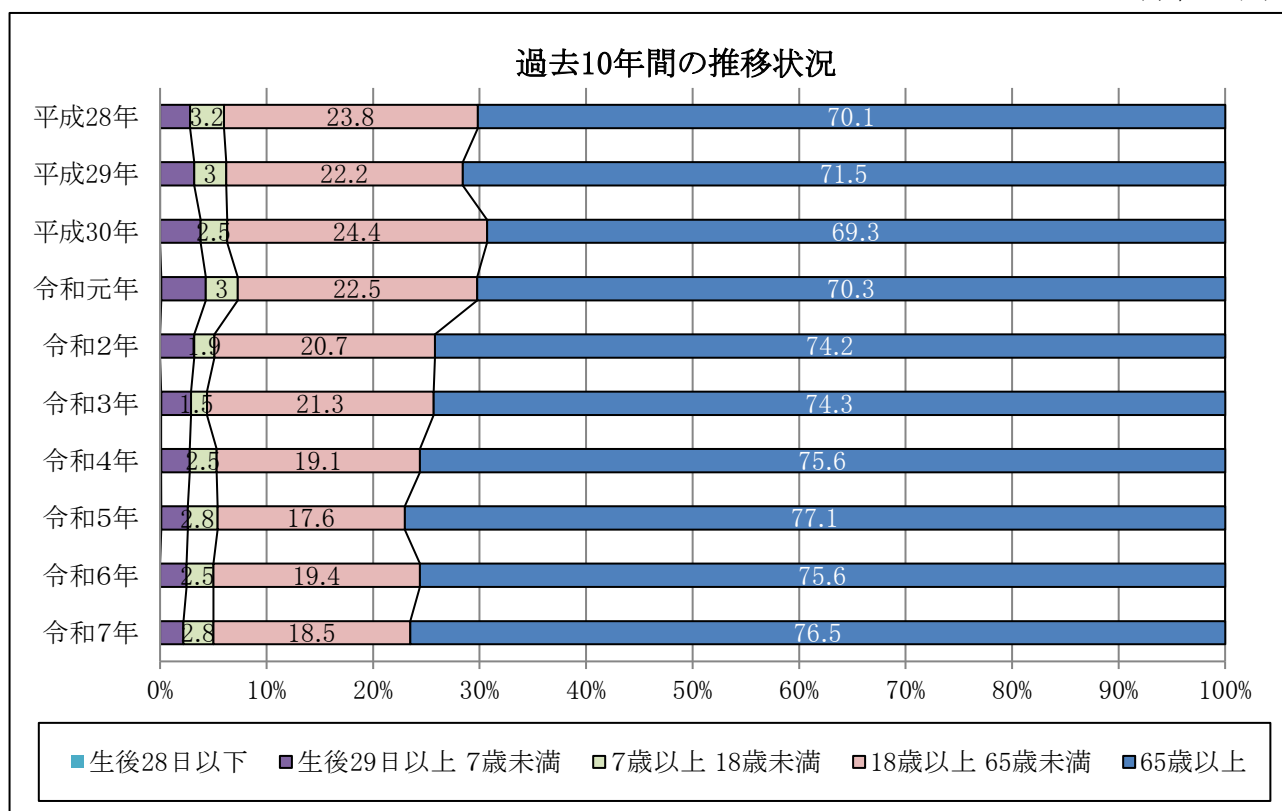
昨年と比べ、5～7月の出場件数がその他の月に比べ増加傾向にあります。これは、地球温暖化及び高温・多湿な時期等の影響により、熱中症等体調不良を起こしやすくなっていることが一因として考えられます。

14. 過去10年間の年齢別搬送人員の状況

(単位：人)

	生後28日以下	生後29日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
平成28年	0	50	57	420	1,237	1,764
平成29年	0	60	56	411	1,324	1,851
平成30年	0	73	47	465	1,321	1,906
令和元年	1	76	54	410	1,278	1,819
令和2年	0	50	29	320	1,150	1,549
令和3年	1	43	24	330	1,153	1,551
令和4年	1	51	48	360	1,423	1,883
令和5年	1	47	53	336	1,471	1,908
令和6年	0	45	46	350	1,364	1,805
令和7年	0	40	52	338	1,398	1,828

(単位：%)



高齢者（65歳以上）の搬送人員は昨年と比べると34人増加、成人（18歳以上65歳未満）の搬送人員は昨年と比べると12人減少となっています。

過去10年間の年齢別搬送人員の推移をみると、わずかではありますが65歳以上の高齢者の割合が増加傾向となっています。

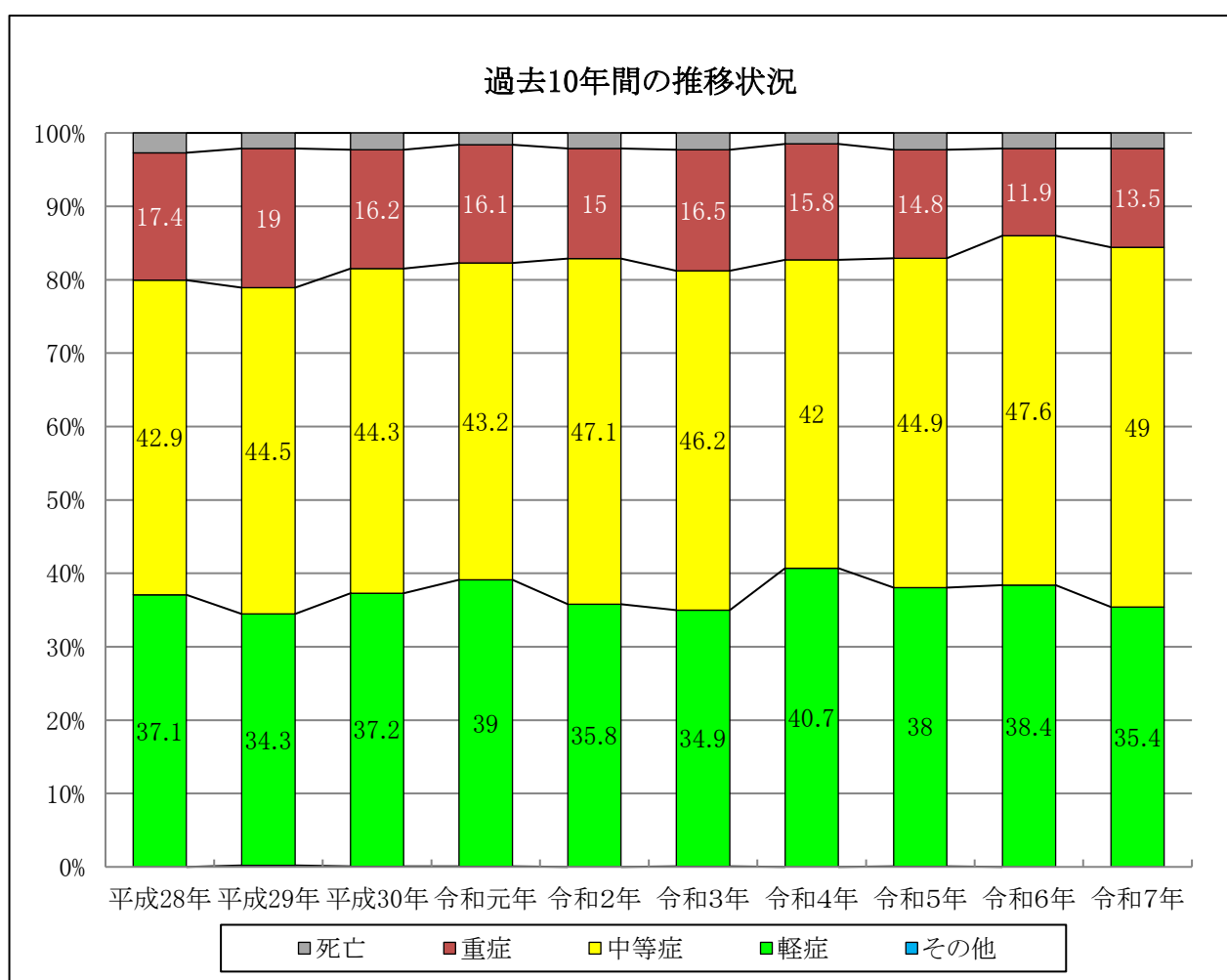
これは、65歳未満の人口が減少したことによる相対的な高齢化が原因と考えられます。

15. 過去10年間の傷病程度別搬送人員の状況

(単位：人)

程 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
死 亡	47	39	43	30	33	35	29	44	38	39
重 症	307	351	308	292	232	256	297	282	215	247
中等症	756	823	845	786	730	716	790	856	859	895
軽 症	654	634	709	709	554	542	767	725	693	647
その他	0	4	1	2	0	2	0	1	0	0
合 計	1,764	1,851	1,906	1,819	1,549	1,551	1,883	1,908	1,805	1,828

(単位：%)



傷病程度別で見ると軽症は減少、重症、中等症は増加となっています。

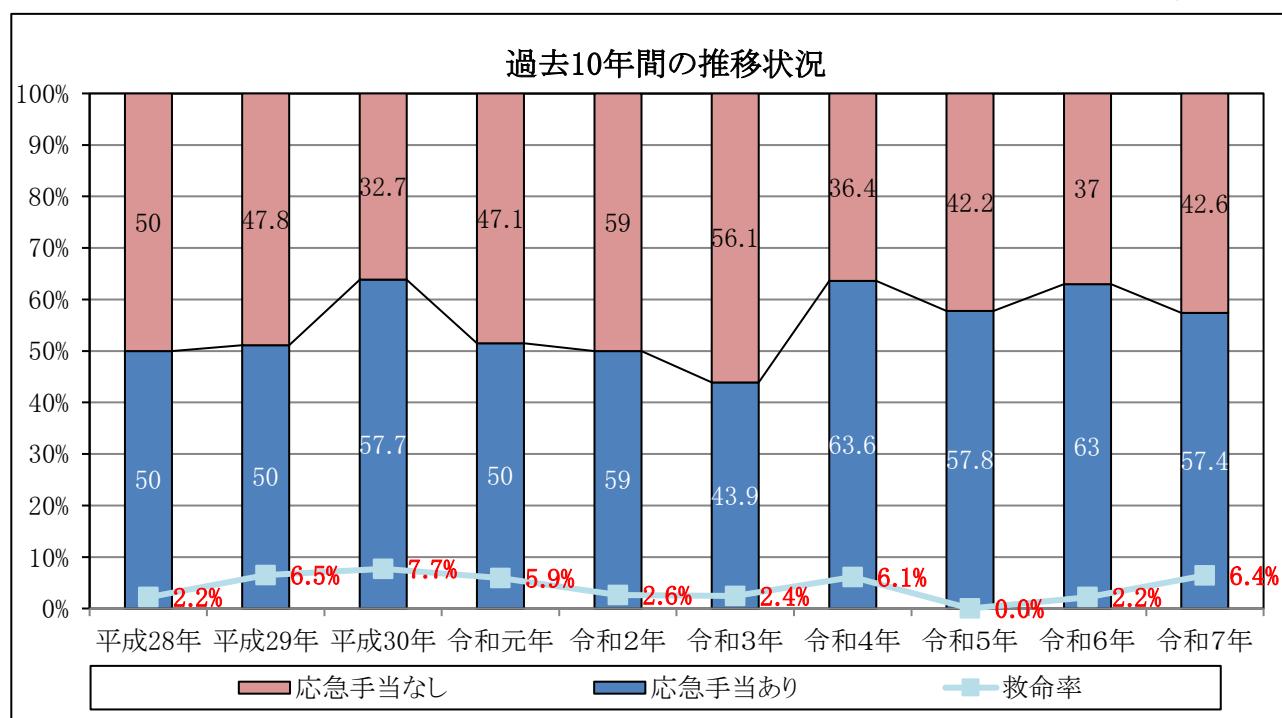
過去10年間の推移状況をみると、重症搬送は減少傾向にあり、10年前と比べると3.9%の減少、中等症は増加傾向にあり、6.1%増加、軽症搬送は増減を繰り返しています。全体の割合をみると、中等症と軽症傷病者が大半を占めています。

16. 過去10年間の心肺停止傷病者への一般市民による応急手当実施状況

(単位：人)

	心肺停止傷病者 搬送者数	1ヶ月後の 生存者数	一般市民による 応急手当あり		一般市民による 応急手当なし
			内AED使用		
平成28年	46	1	23	6	23
平成29年	46	3	23	7	22
平成30年	52	4	30	8	17
令和元年	34	2	17	1	16
令和2年	39	1	23	4	23
令和3年	41	1	18	3	23
令和4年	33	2	21	3	12
令和5年	45	0	26	6	19
令和6年	46	1	29	4	17
令和7年	47	3	27	5	20

(単位：%)



応急手当ありとは心肺停止傷病者に対して一般市民が心肺蘇生法を行ったもので、内AED使用とは、電気ショックの有無にかかわらず、一般市民がAEDを使用していたものです。

救命率とは心肺停止傷病者搬送者数に対する1ヶ月後の生存者数の割合です。

昨年と比べると、心肺停止傷病者搬送者数は1人増加しています。

一般市民による応急手当は昨年の63%より減少し57.4%となりました。

AEDの使用については5件となっています。

応急手当講習会参加人数は年間約1,707人とコロナ禍に比べ大幅に増加しており、10年前と比べても増加傾向にありますが、近年実施率の伸び悩みがあるため、さらなる応急手当講習会の普及に努め、救命率増加を目指す必要があります。

救 助

出場件数 35 件

活動件数 20 件

令和7年 救助の概要

令和7年中の救助出場件数は35件、救助活動件数は20件で、昨年と比較すると出場件数は4件増加し、活動件数の増減はありませんでした。

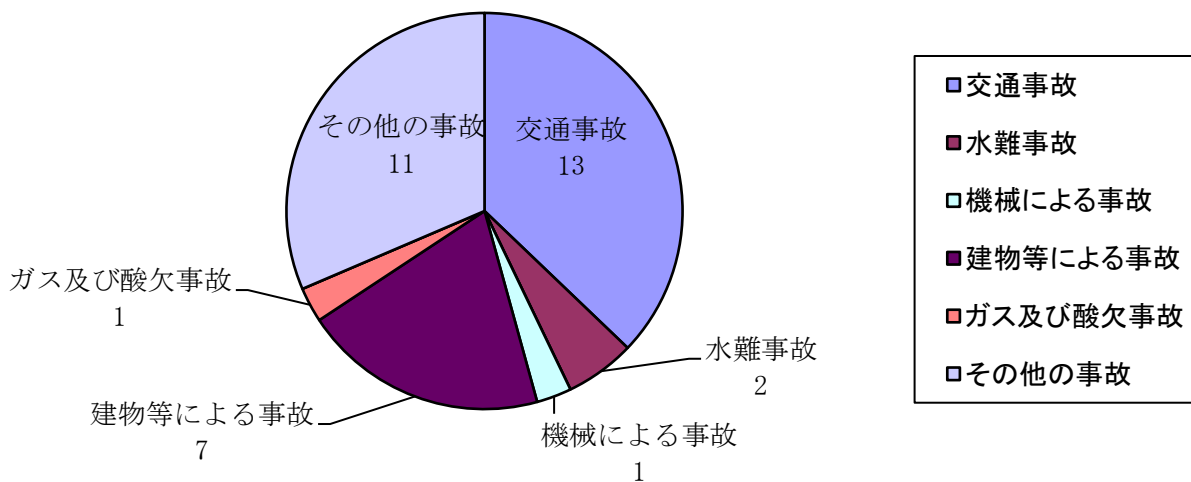
1. 事故種別別出場件数は、交通事故13件(37.1%)が最も多く、次いでその他の事故11件(31.4%)、建物等による事故7件(20%)、水難事故2件(5.7%)、機械による事故1件(2.9%)、ガス及び酸欠事故1件(2.9%)となっています。
2. 救助出場件数を事故種別で昨年と比較すると、最も多いのは昨年に引き続き交通事故で、出動件数は昨年と同じであり、活動件数は1件減少しています。
3. 事故発生地区では美作市が27件(77.1%)と最も多く、次いで中国自動車道3件(8.6%)、西粟倉村3件(8.6%)、高規格道路2件(5.7%)となっています。
4. 救助人員数は22人で、年齢別では65歳以上が14人と最も多く、全体の64%を占めています。
また、傷病程度では中等症以上が12人で、全体の55%を占めており、重症化する事案が一定数発生しています。

1. 事故種別別救助出場件数・活動件数

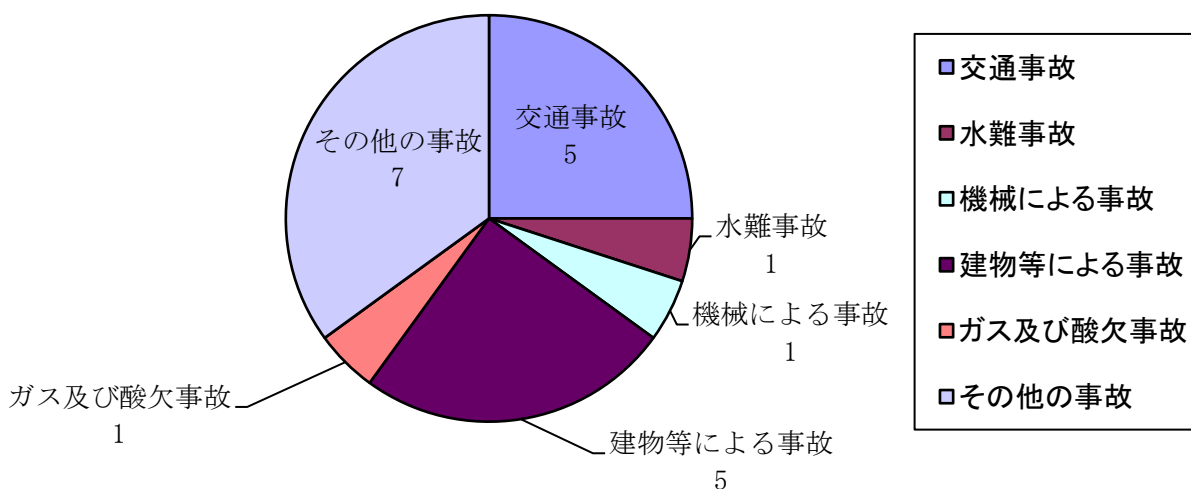
(単位：件)

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
出場件数	0	0	13	2	0	1	7	1	0	11	35
活動件数	0	0	5	1	0	1	5	1	0	7	20

事故種別別出場件数



事故種別別活動件数



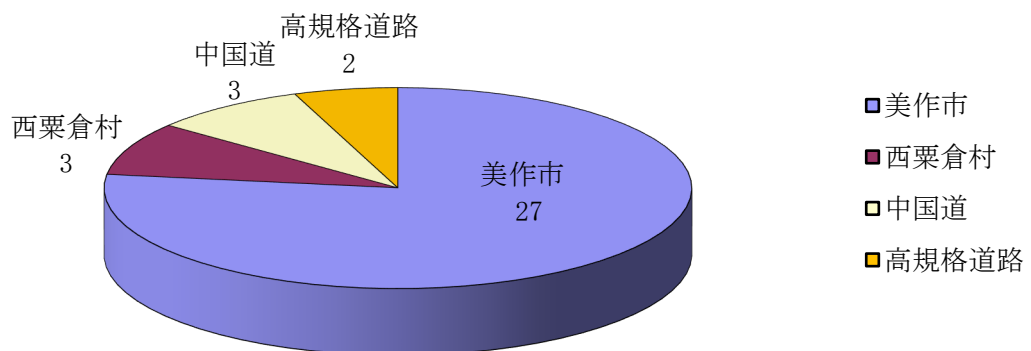
救助出場件数は35件で、そのうち活動件数は20件で57%となっています。
 種別別活動件数では、その他の事故が7件、交通事故が5件、建物等による事故が5件と3つの種別の合計が全体の85%を占めています。

2. 事故発生地区別救助出場件数・活動件数

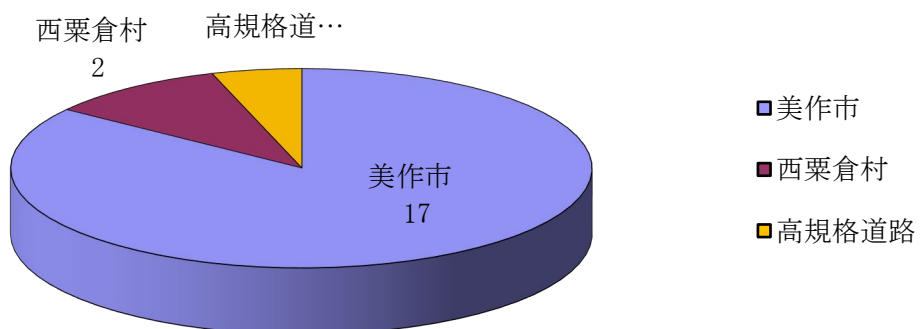
(単位：件)

市村別 件数区分	美作市	西粟倉村	中国道	管 外	高規格道路	合 計
救助出場件数	27	3	3	0	2	35
救助活動件数	17	2	0	0	1	20

市村別救助出場件数



市村別救助活動件数



救助出場件数35件のうち、美作市が27件で77%を占めています。その他では、西粟倉村3件、中国道3件、高規格道路2件となっています。

救助活動件数20件では、美作市が17件で85%と大半を占めています。
管外での救助事案は発生していません。

3. 救助人員における年齢区分別傷病程度

(単位：人)

年齢区分 傷病程度	0～6歳	7～17歳	18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症	0	0	0	1	0	0	0	4	5
中等症	0	0	1	0	0	1	0	5	7
軽症	0	0	0	0	0	1	1	2	4
その他	1	0	0	1	0	1	0	3	6
合計	1	0	1	2	0	3	1	14	22

救助人員とは救助活動により救出された人員です。
傷病程度別では、重症が5人と中等症が7人であり、全体の55%を占めています。
また、年齢区分別では65歳以上の高齢者が14人と64%を占めています。

4. 救助人員における事故種別傷病程度

(単位：人)

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症	0	2	0	0	0	2	0	0	1	5
中等症	0	3	1	0	0	1	0	0	2	7
軽症	0	0	0	0	0	1	0	0	3	4
その他	0	2	0	0	1	1	1	0	1	6
合計	0	7	1	0	1	5	1	0	7	22

事故種別による傷病程度別では、交通事故およびその他の事故が各7人となっており、全体の64%を占めています。

5. 過去5年間の事故種別救助出場件数

(単位：件)

事故種別 年	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
	建物	建物以外									
令和3年	0	0	25	1	0	0	0	2	0	5	33
令和4年	0	0	16	2	0	0	0	0	0	15	33
令和5年	0	0	16	1	0	1	3	1	0	13	35
令和6年	0	0	13	2	0	3	5	2	0	6	31
令和7年	0	0	13	2	0	1	7	1	0	11	35

過去5年の推移としては救助出動件数に大幅な増減はありません。事故種別は交通事故が占める割合が毎年高い水準となっています。

また、近年は独居世帯の増加や高齢化の進行に伴い、施錠された建物内で動けなくなり救助要請に至る事案が増加しており、事故種別の建物等による事故が増加傾向になっています。

通 信

美作地区消防指令センター管内着信件数・・・16,829 件

美作市消防本部管内着信件数・・・・・・・2,479 件

令和7年 通信の概要

令和7年中の美作地区消防指令センター管内着信件数は16,829件、そのうち美作市消防本部管内着信件数は2,479件でした。

昨年と比較すると、美作地区消防指令センター管内着信件数は164件増加、美作市消防本部管内着信件数は37件増加となりました。

1. 美作地区消防指令センター管内の着信件数割合は救急12,149件（約72%）火災187件（約1%）、救助91件（約0.5%）、その他の災害84件（約0.4%）、災害以外の着信件数は4,318件（約25%）となっています。
2. 美作市消防本部管内の着信件数割合は救急1,856件（約74%）、火災27件（約1%）、救助12件（約0.4%）、その他の災害5件（約0.2%）、災害以外の着信件数は579件（約23%）となっています。
3. 美作地区消防指令センター管内での固定電話（IP電話含む）、及び携帯電話からの着信件数は、固定電話（IP電話含む）4,329件（約32%）、携帯電話9,050件（約68%）となっています。
4. 美作市消防本部管内での固定電話及び携帯電話からの着信件数は、固定電話（IP電話含む）1,168件（約47%）、携帯電話が1,307件（約53%）となっています。
5. 令和7年の着信件数を前年と比較してみますと、美作市消防本部管内の救急は（令和6年1812件/令和7年1856件）約2.4%増加、火災は（令和6年23件/令和7年27件）約17.3%増加となっています。
美作地区消防指令センター管内の救急は（令和6年11969件/令和7年12149件）季節性インフルエンザ感染症関連の通報が急増したため約1.5%増加、火災は（令和6年173件/令和7年187件）約8.1%増加しています。

1. 美作地区消防指令センター管内種別別着信件数の内 美作市消防本部管内着信件数の割合

(単位：件)

	火災	救急	救助	その他災害	間違い	通報訓練	試験	問い合わせ	重複	いたずら	取り止め	応答なし	火災通報装置	転送切断	合計
美作市消防本部管内着信件数(件)	27	1,856	12	5	81	100	22	97	92	5	8	59	107	8	2,479
美作地区消防指令センター管内着信件数(件)	187	12,149	91	84	681	975	188	695	568	64	50	518	521	58	16,829
美作市消防本部の割合(%)	14%	15%	13%	6%	12%	10%	12%	14%	16%	8%	16%	11%	21%	14%	15%

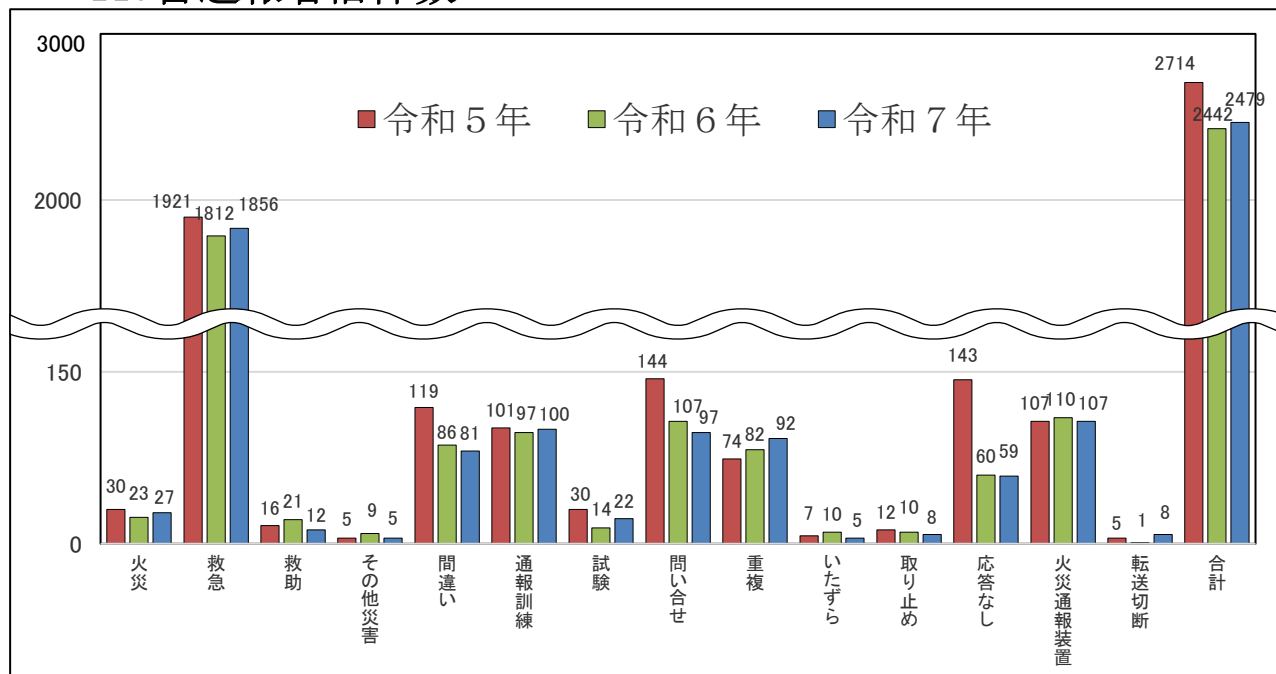
令和7年の美作地区消防指令センター着信件数に占める美作市消防本部管内着信件数の割合は全体の15%を占めています。昨年と比較すると同割合となっており着信件数は37件増加しています。

内訳について、実災害の着信件数である「火災」「救急」「救助」「その他の災害」の着信件数は、昨年と比較すると「救助」と「その他の災害」の着信件数が増加し、「火災」「救急」の着信件数は減少しています。

「その他の災害」とは、火災通報装置からの通報による警戒出動、怪煙確認、危険物漏洩対応、へり地上支援の災害出動を指します。

「応答なし」が昨年と比較して減少しています。

2. 過去3年間の美作市消防本部管内種別別119番通報着信件数

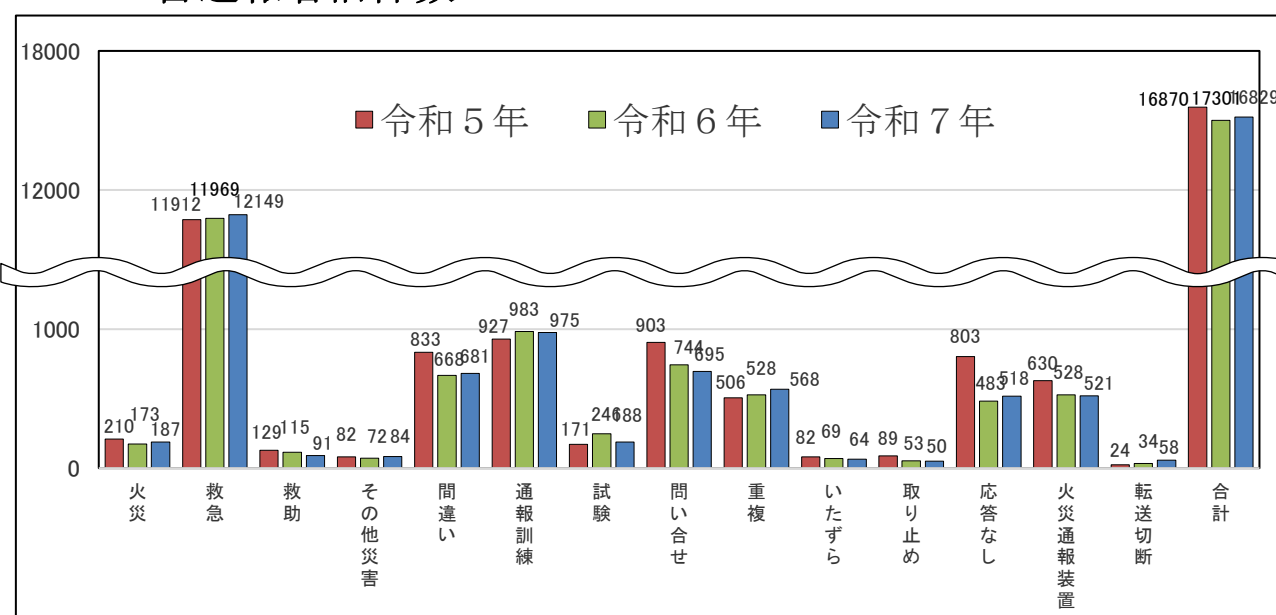


過去3年間の美作市消防本部の種別別119番通報着信件数をみると、「救急」が他の種別に比べて多くなっています。

昨年と比較すると「火災」は4件増加、「救助」は9件減少、「その他の災害」は4件減少しています。「救急」の着信件数は近年、コロナウイルス感染症の影響で増加傾向にありましたが、2類感染症から5類感染症へ引き下げられた影響で減少傾向にあると考えられます。

令和4年から新たに「火災通報装置」の種別が入ったことにより、火災通報装置から着信した誤報や重複等は火災通報装置として処理しているため、関係種別で若干の増減があります。

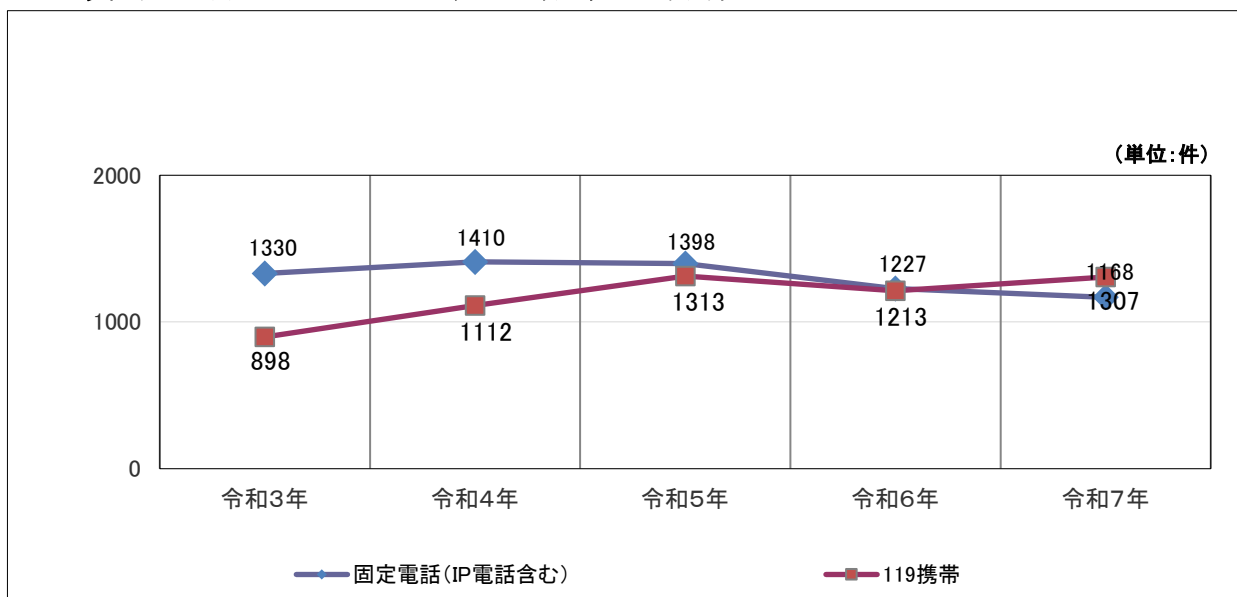
3. 過去3年間の美作地区消防指令センター管内種別別119番通報着信件数



過去3年間の美作地区消防指令センター管内の種別別119番通報着信件数をみると、「救急」が他の種別に比べ多くなっています。

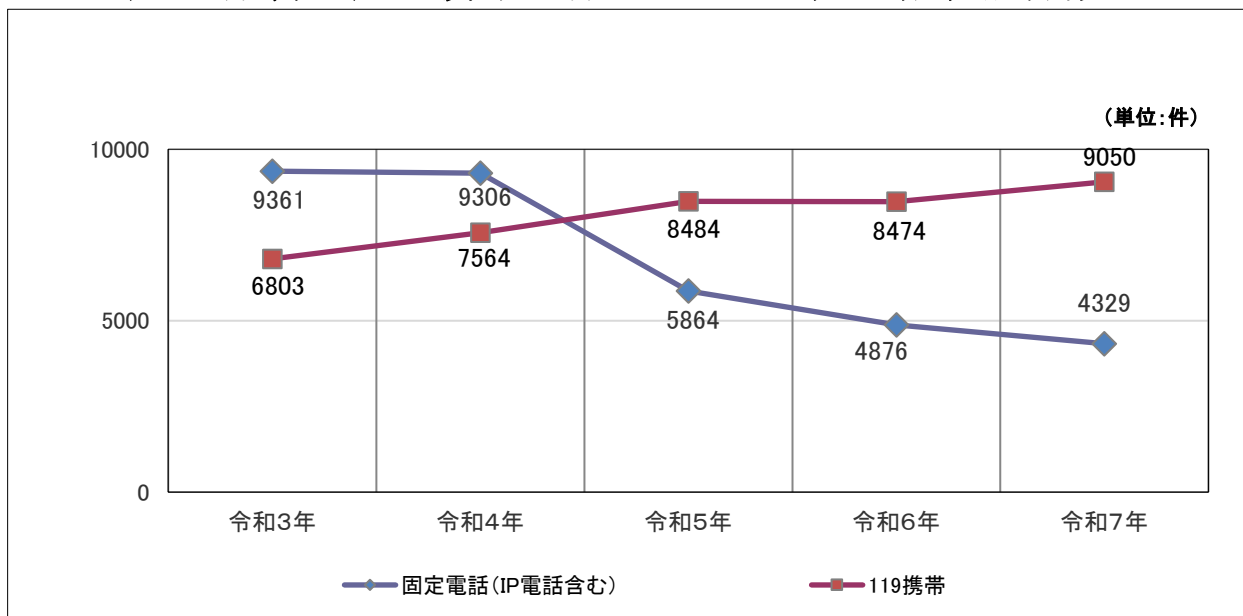
「救急」の着信件数について、美作地区消防指令センター管内で見れば、令和7年は令和6年と比べて164件増加、前項のとおり美作市消防本部管内では37件増加しています。

4. 過去5年間の美作市消防本部管内固定電話（IP電話含む）と携帯電話からの119番通報着信件数



美作市消防本部管内の固定電話と携帯電話からの着信件数を比較してみると、令和6年に限り固定電話、携帯電話共に使用比率はほぼ同じとなっています。固定電話は登録情報などから場所の特定は容易になりますが、発生場所から離れていると聴取内容の聞き取りに時間を要してしまうこともあります。また交通事故、山岳救助などの通報時にはスマートフォンによるLive119通報システムの活用を積極的に促していますが、電波状況により使用状況が左右されています。

5. 過去5年間の美作地区消防指令センター管内固定電話（IP電話含む）と携帯電話からの119番通報着信件数



美作地区消防指令センター管内の固定電話と携帯電話からの着信件数を比較してみると、令和4年からの固定電話の着信件数は減少傾向にあります。令和2年から令和4年までは横這いでしたが、令和5年からは約1,000件下がっています。

一方、携帯電話からの着信は、令和4年からは増加しています。

またスマートフォンからの通報は、Live119通報システムに繋ぐことが可能となり大きな事故や山岳救助などで応急処置などに活用したり、心肺蘇生が必要な通報現場では胸骨圧迫の画像を共有することも可能となりました。